

第7号様式（第5条関係）



令和3年4月30日

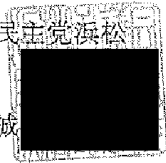
浜松市議会議長 様

浜松市中区元城町103-2

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松

報告者

代表者氏名 会長 渥美 誠



政務活動費収支報告書

浜松市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により別紙のとおり
令和2年度分政務活動費の収支報告をいたします。

別紙

会派名 浜松市中区元城町103-2
浜松市議会 自由民主党浜松

令和 2 年度

1 収 入

政務活動費 43,200,193 円 (ただし①預金利息 193 円を含む)

2 支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
調 査 研 究 費	1,505,037	行政視察費・市内出張旅費 等
研 修 費	352,391	研修会参加費・市内出張旅費 等
広 報 費	9,996,456	会派だより印刷費・配送費 等
広 聴 費	2,288,238	市民要望広聴会費, 調査費・交通費 等
要請・陳情活動費	270,969	要請・陳情交通費 等
会 議 費	689,670	会議出席交通費、会議諸費 等
資 料 作 成 費	425,420	資料作成用印刷費・用紙・インク代 等
資 料 購 入 費	774,418	資料・書籍購入費等
人 件 費	9,454,833	会派雇用職員給与・賞与・保険料 等
事 務 所 費	2,641,954	備品購入費・修繕費・事務用品代 等
合 計	28,399,386	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 14,800,807 円

別紙

会派名 浜松市中区元城町103-2
浜松市議会 自由民主党浜松

令和 2 年度（前期：4月～9月）

1 収 入

政務活動費 21,600,083 円 （ただし、預金利息 83 円を含む）

2 支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
調 査 研 究 費	251,599	市内及び近隣地旅費等
研 修 費	69,689	研修セミナー受講費及び旅費・交通費等
広 報 費	1,597,950	会派だより印刷・折込費等
広 聴 費	304,096	市民要望・相談聴取活動時交通費等
要請・陳情活動費	188,938	会派要望活動旅費等
会 議 費	185,332	会議時交通費等
資 料 作 成 費	319,725	資料作成用紙代・印刷製本費等
資 料 購 入 費	569,019	新聞購読料及び書籍等購入費
人 件 費	4,467,601	会派雇用職員(2名分)給与手当・保険料等
事 務 所 費	1,239,238	控室管理費・事務用品、備品購入費等
合 計	9,193,187	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 12,406,896 円

別紙

会派名 浜松市中区元城町103-2
浜松市議会 自由民主党浜松

令和 2 年度（後期）

1 収 入

政務活動費 34,007,006 円 (ただし、預金利息 193 円を含む)

(内訳)

政務活動費 12,406,896 円 (ただし、預金利息 83 円を含む)
(前期からの繰越分)
政務活動費(後期分) 21,600,110 円 (ただし、預金利息 110 円を含む)

2 支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
調 査 研 究 費	1,253,438	
研 修 費	282,702	研修会参加費・市内交通費 等
広 報 費	8,398,506	会派だより印刷費・市政資料郵送費 等
広 聴 費	1,984,142	市民要望広聴費, 調査費・交通費 等
要請・陳情活動費	82,031	要請・陳情交通費 等
会 議 費	504,338	会議時交通費 等
資 料 作 成 費	105,695	資料作成用インク・用紙・印刷代 等
資 料 購 入 費	205,399	資料・書籍購入費等
人 件 費	4,987,232	会派雇用職員給与・賞与・保険料 等
事 務 所 費	1,402,716	事務機器費用・文具・消耗品代金 等
合 計	19,206,199	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 14,800,807 円

収入証明書

金額		百万	十万	万	千	百 ¥	十 8	円 3
----	--	----	----	---	---	--------	--------	--------

但し 普通預金 利息 代金として

静岡銀行 

- ① 口座 #  82 円
- ② #  1 円

上記の金額を受領したことを証明します。

令和 2 年 8 月 15 日 振込

代表者名 渥 美 誠 

利息計算書

浜松市議会自由民主党浜松 様

口座番号	普通預金	利 息 振 替 日	令和 02 年 08 月 15 日
利 息 計 算 期 間	自	令和 02 年 02 月 15 日 ~ 至	令和 02 年 08 月 14 日
▲ 毎度お引き立てに預りありがとうございます。 お利息は、右のとおりでございます。 令和 02 年 08 月 15 日 株式会社 静岡銀行 [Redacted]	利 率	0.001 %	
	利息金額	96 円	
	税 国 税	15.315%	14 円
	金 地方税	---%	--- 円
	差引支払利息	82 円	

YQB50800 (L200)

(0293)

利息計算書

浜松市議会自由民主党浜松 (給与) 様

口座番号	普通預金	利 息 振 替 日	令和 02 年 08 月 15 日
利 息 計 算 期 間	自	令和 02 年 02 月 15 日 ~ 至	令和 02 年 08 月 14 日
▲ 毎度お引き立てに預りありがとうございます。 お利息は、右のとおりでございます。 令和 02 年 08 月 15 日 株式会社 静岡銀行 [Redacted]	利 率	0.001 %	
	利息金額	1 円	
	税 国 税	%	円
	金 地方税	---%	--- 円
	差引支払利息	1 円	

YQB50800 (L200)

(0293)

収入証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
					¥	1	1	0

但し 普通預金 利息 代金として

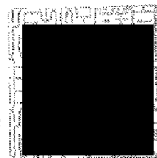
静岡銀行 

- ① 口座 #  109 円
 ② #  1 円

上記の金額を受領したことを証明します。

令和 3 年 2 月 20 日 振込

代表者名 渥 美 誠



利息計算書

浜松市議会自由民主党浜松 様

口座番号	普通預金	利 息 振 替 日	令和 03 年 02 月 20 日	
利 息 計 算 期 間	自 令和 02 年 08 月 15 日 ~ 至 令和 03 年 02 月 19 日			
▲ 毎度お引き立てに預りありがとうございます。 お利息は、右のとおりでございます。 令和 03 年 02 月 20 日 株式会社 静岡銀行 [Redacted]	利 率	0.001 %		
	利息金額	128 円		
	税 金	国 税	15.315%	19 円
		地 方 税	---%	--- 円
	差引支払利息	109 円		

YQB50800 (L200)

(0293)

利息計算書

浜松市議会自由民主党浜松 (給与) 様

口座番号	普通預金	利 息 振 替 日	令和 03 年 02 月 20 日	
利 息 計 算 期 間	自 令和 02 年 08 月 15 日 ~ 至 令和 03 年 02 月 19 日			
▲ 毎度お引き立てに預りありがとうございます。 お利息は、右のとおりでございます。 令和 03 年 02 月 20 日 株式会社 静岡銀行 [Redacted]	利 率	0.001 %		
	利息金額	1 円		
	税 金	国 税	%	円
		地 方 税	---%	--- 円
	差引支払利息	1 円		

YQB50800 (L200)

(0293)

科目 A 調査研究費

期間 令和2年分

日付	摘要	支出金額	通し番号
4月分		0	
5月7日	4月分市内出張旅費	11,470	交5-1
5月7日	4月分市内出張旅費	925	交5-2
5月8日	4月分市内出張旅費	2,812	交5-3
5月8日	4月分市内出張旅費	3,367	交5-4
5月8日	4月分市内出張旅費	4,551	交5-6
5月18日	4月分市内出張旅費	18,500	交5-7
5月18日	4月分市内出張旅費	6,993	交5-8
5月分		48,618	
6月1日	4月分市内出張旅費	3,005	交6-1
6月2日	5月分市内出張旅費	2,812	交6-6
6月4日	5月分市内出張旅費	2,738	交6-7
6月15日	5月分市内出張旅費	5,631	交6-8
6月18日	4月分市内出張旅費	13,172	交6-9
6月30日	5月分市内出張旅費	7,326	交6-10
6月30日	6月分市内出張旅費	9,953	交6-11
6月分		44,637	
7月1日	5月分市内出張旅費	185	交7-1
7月3日	6月分市内出張旅費	6,169	交7-3
	4月分市内出張旅費	6,697	交7-4
	5月分市内出張旅費	9,176	交7-5
7月6日	6月分市内出張旅費	4,921	交7-6
	5月分市内出張旅費	13,024	交7-7
	6月分市内出張旅費	15,614	交7-8
	6月分市内出張旅費	7,511	交7-9
7月17日	5月分市内出張旅費	16,132	交7-13
7月分		79,429	

8月4日	7月分市内出張旅費	17,797	交8-3	/
8月5日	7月分市内出張旅費	999	交8-4	/
8月7日	6月分市内出張旅費	13,920	交8-5	/
	6月分市内出張旅費	2,442	交8-6	/
	7月分市内出張旅費	2,405	交8-7	/
8月11日	7月分市内出張旅費	1,443	交8-8	/
8月12日	6月分市内出張旅費	7,500	交8-9	/
	7月分市内出張旅費	2,590	交8-10	/
8月13日	7月分市内出張旅費	7,141	交8-11	/
8月26日	7月分市内出張旅費	5,069	交8-12	/
8月分		61,306		
9月1日	8月分市内出張旅費	5,214	交9-1	/
	8月分市内出張旅費	1,184	交9-2	/
	8月分市内出張旅費	4,033	交9-3	/
9月10日	8月分市内出張旅費	7,178	交9-5	/
9月分		17,609		

合計	251,599	/
----	---------	---

10月1日	8月分市内出張旅費	✓	7,585	交10-1
	9月分市内出張旅費	✓	814	交10-2
	9月分市内出張旅費	✓	6,401	交10-3
10月5日	7月分市内出張旅費	✓	20,165	交10-6
	8月分市内出張旅費	✓	13,024	交10-7
	9月分市内出張旅費	✓	8,214	交10-8
	9月分市内出張旅費	✓	5,217	交10-9
10月7日	7月分市内出張旅費	✓	15,503	交10-10
10月8日	8月分市内出張旅費	✓	10,471	交10-11
10月8日	4月分市内出張旅費	✓	3,145	交10-12
	5月分市内出張旅費	✓	2,627	交10-13
	6月分市内出張旅費	✓	2,553	交10-14
	7月分市内出張旅費	✓	5,724	交10-15
	8月分市内出張旅費	✓	2,479	交10-16
	9月分市内出張旅費	✓	2,812	交10-17
10月9日	6月分市内出張旅費	✓	10,878	交10-18
	7月分市内出張旅費	✓	19,314	交10-19
	8月分市内出張旅費	✓	7,030	交10-20
	9月分市内出張旅費	✓	5,994	交10-21
10月12日	9月分市内出張旅費	✓	1,628	交10-25
	4月分市内出張旅費	✓	7,992	交10-26
	5月分市内出張旅費	✓	6,993	交10-27
	6月分市内出張旅費	✓	7,992	交10-28
	7月分市内出張旅費	✓	10,989	交10-29
	8月分市内出張旅費	✓	11,988	交10-30
10月13日	9月分市内出張旅費	✓	7,992	交10-31
10月30日	8月分市内出張旅費	✓	15,281	交10-32
	10月分		220,805	
11月2日	10月分市内出張旅費	✓	5,957	交11-1
11月5日	10月分市内出張旅費	✓	15,826	交11-2
	10月分市内出張旅費	✓	148	交11-4
11月9日	9月分市内出張旅費	✓	10,545	交11-5
11月16日	10月分市内出張旅費	✓	10,841	交11-6
11月17日	10月分市内出張旅費	✓	9,546	交11-7

11月30日	10月分市内出張旅費	✓	8,917	交11-11
	11月分市内出張旅費	✓	11,507	交11-12
11月分			73,287	
12月2日	11月分市内出張旅費	✓	11,803	交12-1
12月3日	11月分市内出張旅費	✓	2,627	交12-3
12月7日	11月分市内出張旅費	✓	19,980	交12-6
12月17日	9月分市内出張旅費	✓	15,059	交12-7
	10月分市内出張旅費	✓	20,757	交12-8
	11月分市内出張旅費	✓	12,543	交12-9
12月分			82,769	
1月4日	12月分市内出張旅費	✓	15,762	交1-4
	12月分市内出張旅費	✓	13,991	交1-5
1月5日	12月分市内出張旅費	✓	2,923	交1-7
1月8日	12月分市内出張旅費	✓	4,255	交1-9
1月15日	12月分市内出張旅費	✓	10,582	交1-12
1月25日	10月分市内出張旅費	✓	4,958	交1-14
	11月分市内出張旅費	✓	4,107	交1-15
1月27日	8月分市内出張旅費	✓	259	交1-18
1月分			56,837	
2月1日	1月分市内出張旅費	✓	10,767	交2-1
2月2日	1月分市内出張旅費	✓	6,364	交2-2
2月8日	1月分市内出張旅費	✓	5,735	交2-5
2月12日	1月分市内出張旅費	✓	16,325	交2-7
2月19日	4月分市内出張旅費	✓	8,769	交2-8
2月22日	9月分市内出張旅費	✓	1,961	交2-9
	1月分市内出張旅費	✓	592	交2-10
2月24日	1月分市内出張旅費	✓	12,654	交2-11
2月26日	5月分市内出張旅費	✓	6,660	交2-12
2月分			69,827	

3月1日	2月分市内出張旅費	✓	5,143	交3-1
3月2日	2月分市内出張旅費	✓	7,363	交3-5
3月3日	6月分市内出張旅費	✓	5,328	交3-7
3月8日	2月分市内出張旅費	✓	11,715	交3-8
3月17日	7月分市内出張旅費	✓	2,664	交3-12
	8月分市内出張旅費	✓	4,662	交3-13
	9月分市内出張旅費	✓	2,664	交3-14
3月18日	1月分市内出張旅費	✓	14,541	交3-15
	2月分市内出張旅費	✓	12,136	交3-16
3月22日	2月分市内出張旅費	✓	13,690	交3-23
3月23日	4月分市内出張旅費	✓	2,331	交3-26
	5月分市内出張旅費	✓	1,184	交3-27
	6月分市内出張旅費	✓	1,184	交3-28
	7月分市内出張旅費	✓	1,184	交3-29
	8月分市内出張旅費	✓	1,887	交3-30
	9月分市内出張旅費	✓	1,480	交3-31
	10月分市内出張旅費	✓	2,368	交3-32
	11月分市内出張旅費	✓	3,034	交3-33
	12月分市内出張旅費	✓	740	交3-34
	1月分市内出張旅費	✓	4,625	交3-35
	2月分市内出張旅費	✓	2,368	交3-36
3月25日	10月分市内出張旅費	✓	1,998	交3-38
3月30日	11月分市内出張旅費	✓	1,998	交3-40
	12月分市内出張旅費	✓	2,664	交3-41
	5月分市内出張旅費	✓	111	交3-43
	10月分市内出張旅費	✓	592	交3-48

109,634

3月31日	11月分市内出張旅費	✓	13,616	交3-54
	12月分市内出張旅費	✓	4,477	交3-55
	1月分市内出張旅費	✓	7,881	交3-56
	2月分市内出張旅費	✓	7,252	交3-57
	3月分市内出張旅費	✓	1,480	交3-58
	10月分市内出張旅費	✓	7,992	交3-60
	11月分市内出張旅費	✓	10,989	交3-61
	12月分市内出張旅費	✓	8,991	交3-62
	1月分市内出張旅費	✓	8,991	交3-63
	2月分市内出張旅費	✓	7,992	交3-64
	3月分市内出張旅費	✓	8,991	交3-65
	3月分市内出張旅費	✓	18,315	交3-66
	3月分市内出張旅費	✓	5,624	交3-67
	3月分市内出張旅費	✓	8,177	交3-68
	3月分市内出張旅費	✓	1,184	交3-69
	3月分市内出張旅費	✓	17,002	交3-70
	2月分市内出張旅費	✓	2,072	交3-71
	3月分市内出張旅費	✓	1,517	交3-72
	3月分市内出張旅費	✓	1,924	交3-78
	5月分市内出張旅費	✓	3,293	交3-79
	6月分市内出張旅費	✓	7,326	交3-80
	7月分市内出張旅費	✓	6,068	交3-81
	8月分市内出張旅費	✓	4,810	交3-82
	9月分市内出張旅費	✓	6,660	交3-83
	10月分市内出張旅費	✓	5,476	交3-84
	11月分市内出張旅費	✓	13,542	交3-85
	12月分市内出張旅費	✓	7,733	交3-86
	1月分市内出張旅費	✓	10,804	交3-87
	2月分市内出張旅費	✓	4,958	交3-88
	3月分市内出張旅費	✓	2,886	交3-89
	4月分市内出張旅費	✓	7,141	交3-90
	5月分市内出張旅費	✓	2,664	交3-91
	6月分市内出張旅費	✓	9,354	交3-92
	7月分市内出張旅費	✓	7,437	交3-93
	8月分市内出張旅費	✓	12,099	交3-94
	9月分市内出張旅費	✓	2,664	交3-95
	10月分市内出張旅費	✓	1,998	交3-96
	11月分市内出張旅費	✓	2,738	交3-97
	1月分市内出張旅費	✓	7,326	交3-99

271,377

	2月分市内出張旅費	✓	3,142	交3-100
	3月分市内出張旅費	✓	3,256	交3-101
	3月分市内出張旅費	✓	14,319	交3-103
	10月分市内出張旅費	✓	15,429	交3-104
	11月分市内出張旅費	✓	14,541	交3-105
	12月分市内出張旅費	✓	10,582	交3-106
	1月分市内出張旅費	✓	15,133	交3-107
	2月分市内出張旅費	✓	11,285	交3-108
	3月分市内出張旅費	✓	8,473	交3-109
	4月分市内出張旅費	✓	5,106	交3-110
	5月分市内出張旅費	✓	5,106	交3-111
	6月分市内出張旅費	✓	8,074	交3-112
	7月分市内出張旅費	✓	7,918	交3-113
	8月分市内出張旅費	✓	7,400	交3-114
	9月分市内出張旅費	✓	8,540	交3-115
	10月分市内出張旅費	✓	10,767	交3-116
	11月分市内出張旅費	✓	9,672	交3-117
	12月分市内出張旅費	✓	11,300	交3-118
	1月分市内出張旅費	✓	8,292	交3-119
	2月分市内出張旅費	✓	7,774	交3-120
	3月分市内出張旅費	✓	6,660	交3-121
	4月分市内出張旅費	✓	19,462	交3-122
	5月分市内出張旅費	✓	15,281	交3-123
	6月分市内出張旅費	✓	14,134	交3-124
	7月分市内出張旅費	✓	17,427	交3-125
	8月分市内出張旅費	✓	15,318	交3-126
	9月分市内出張旅費	✓	10,434	交3-127
	10月分市内出張旅費	✓	12,987	交3-128
	11月分市内出張旅費	✓	15,503	交3-129
	12月分市内出張旅費	✓	10,064	交3-130
	1月分市内出張旅費	✓	9,731	交3-131
	2月分市内出張旅費	✓	10,101	交3-132
	3月分市内出張旅費	✓	10,249	交3-133
	1月分市内出張旅費	✓	3,996	交3-134
	2月分市内出張旅費	✓	1,998	交3-135
	3月分市内出張旅費	✓	3,330	交3-136
	3月分市内出張旅費	✓	6,031	交3-138
	3月分		749,913	✓

5/8, 9/15

合計	1,253,438	✓
----	-----------	---

科目 B 研修費

		期間	令和2年分
日付	摘要	支出金額	通し番号
	4月分	0	
5月8日	4月分市内出張旅費	2,405	交5-4
5月8日	4月分市内出張旅費	2,664	交5-5
5月8日	4月分市内出張旅費	1,480	交5-6
5月18日	4月分市内出張旅費	3,996	交5-8
	5月分	10,545	
6月2日	5月分市内出張旅費	592	交6-5
6月4日	5月分市内出張旅費	888	交6-7
6月15日	5月分市内出張旅費	999	交6-8
6月18日	4月分市内出張旅費	4,440	交6-9
	6月分	6,919	
7月2日	8/21開催 セミナーオンライン参加受講料	25,000	B0701
	上記振込手数料/静岡銀行 浜松営業部	440	B0701
7月2日	6月分市内出張旅費	1,258	交7-2
7月3日	4月分市内出張旅費	2,146	交7-4
	5月分市内出張旅費	296	交7-5
7月17日	5月分市内出張旅費	5,920	交7-13
	7月分	35,060	

8月5日	7月分市内出張旅費	✓	1,850	交8-4
8月7日	6月分市内出張旅費	✓	2,960	交8-5
	6月分市内出張旅費	✓	1,184	交8-6
	7月分市内出張旅費	✓	1,924	交8-7
8月26日	7月分市内出張旅費	✓	7,767	交8-12
8月分			15,685	✓
9月1日	8月分市内出張旅費	✓	888	交9-1
9月10日	8月分市内出張旅費	✓	592	交9-4
9月分			1,480	✓

合計	69,689	✓
----	--------	---

10月1日	①10/29開催 オンライン受講費/地方議会総合研	15,000	B1001
	②上記振込手数料/静岡銀行 浜松営業部	440	B1001
	①11/6開催 オンライン受講費/社会保障フォーラム事	25,000	B1002
	②上記振込手数料/静岡銀行 浜松営業部	440	B1002
10月27日	10/26開催 シンポジウム研修旅費【倉田議員】	17,850	B1003
10月5日	9月分市内出張旅費	185	交10-9
10月7日	7月分市内出張旅費	7,400	交10-10
10月8日	8月分市内出張旅費	4,440	交10-11
10月8日	4月分市内出張旅費	1,554	交10-12
	6月分市内出張旅費	2,627	交10-14
	7月分市内出張旅費	3,182	交10-15
	8月分市内出張旅費	1,443	交10-16
	9月分市内出張旅費	666	交10-17
10月9日	8月分市内出張旅費	6,993	交10-20
10月分		87,220	
11月20日	11/19開セミナー参加 静岡市出張旅費(6名分)	65,474	B1101
11月5日	10月分市内出張旅費	3,897	交11-2
	9月分市内出張旅費	1,887	交11-3
	10月分市内出張旅費	4,773	交11-4
11月17日	10月分市内出張旅費	629	交11-7
11月分		76,660	
12月18日	12/18開催 研修会 講師派遣交通費(実費代)	17,220	B1201

12月2日	11月分市内出張旅費	518	交12-1
12月17日	10月分市内出張旅費	2,960	交12-7
	11月分市内出張旅費	2,960	交12-8
	12月分	23,658	
1月4日	12月分市内出張旅費	1,998	交1-5
1月20日	12月分市内出張旅費	629	交1-13
1月25日	10月分市内出張旅費	1,961	交1-14
	11月分市内出張旅費	2,812	交1-15
	12月分市内出張旅費	5,772	交1-16
1月27日	8月分市内出張旅費	1,776	交1-18
	1月分	14,948	
2月22日	9月分市内出張旅費	592	交2-9
	1月分市内出張旅費	1,480	交2-10
	2月分	2,072	

3月1日	2月分市内出張旅費	629	交3-1
3月2日	2月分市内出張旅費	407	交3-6
3月8日	2月分市内出張旅費	2,997	交3-8
3月18日	11月分市内出張旅費	2,775	交3-17
3月23日	1月分市内出張旅費	3,441	交3-24
	2月分市内出張旅費	6,771	交3-25
3月23日	4月分市内出張旅費	1,184	交3-26
	5月分市内出張旅費	888	交3-27
	6月分市内出張旅費	888	交3-28
	7月分市内出張旅費	999	交3-29
	8月分市内出張旅費	296	交3-30
	9月分市内出張旅費	592	交3-31
	10月分市内出張旅費	296	交3-32
	11月分市内出張旅費	592	交3-33
	12月分市内出張旅費	1,961	交3-34
	1月分市内出張旅費	1,480	交3-35
3月30日	1月分市内出張旅費	851	交3-39
	4月分市内出張旅費	2,220	交3-42
	5月分市内出張旅費	1,332	交3-43
	6月分市内出張旅費	1,887	交3-44
	7月分市内出張旅費	2,664	交3-45
	8月分市内出張旅費	1,332	交3-46

	9月分市内出張旅費	′	888	交3-47
	11月分市内出張旅費	′	444	交3-49
	12月分市内出張旅費	′	888	交3-50
	1月分市内出張旅費	′	888	交3-51
	2月分市内出張旅費	′	222	交3-52
	3月分市内出張旅費	′	1,332	交3-53
3月31日	12月分市内出張旅費	′	5,920	交3-55
	1月分市内出張旅費	′	1,480	交3-56
	3月分市内出張旅費	′	4,884	交3-59
	3月分市内出張旅費	′	1,184	交3-69
	3月分市内出張旅費	′	592	交3-71
	3月分市内出張旅費	′	3,552	交3-72
	5月分市内出張旅費	′	481	交3-79
	1月分市内出張旅費	′	481	交3-87
	2月分市内出張旅費	′	481	交3-88

	5月分市内出張旅費	666	交3-111
	6月分市内出張旅費	666	交3-112
	7月分市内出張旅費	1,998	交3-113
	8月分市内出張旅費	1,998	交3-114
	12月分市内出張旅費	666	交3-118
	1月分市内出張旅費	1,332	交3-119
	4月分市内出張旅費	1,739	交3-122
	6月分市内出張旅費	1,739	交3-124
	8月分市内出張旅費	2,109	交3-126
	9月分市内出張旅費	259	交3-127
	10月分市内出張旅費	2,405	交3-128
	11月分市内出張旅費	703	交3-129
	2月分市内出張旅費	1,406	交3-132
	3月分市内出張旅費	259	交3-139
	3月分	78,144	

合計	282,702
----	---------

B0701

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	2	5	4	4	0

- 但し ① 8月21日(金)開催
 第22回地方から考える「社会保障フォーラム」
 参加費【オンライン受講費】 25,000円(社会保障フォーラム事務局)
- ② 上記振込み手数料 440円(静岡銀行浜松営業部)

代金として

ご利用明細 (共同用)

ご利用ありがとうございます。
 内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号	234
02:07:02		
銀行番号	店番号	科目
0149		
お取扱店	お取引内容	お取引金額
0361	お引出し	¥25,000
お取扱枚数	*****	
おつり	残高	*****
キャッシング	手数料	時刻
	¥440	15150193

06
 01
 02
 03
 04
 05
 06
 07
 08
 09
 10
 11
 12

ミツビシユー・イフジ・イー
 シンホウチヨウ
 普通 0506395
 シヤカイホウヨウフォーラム
 様
 ハマツシキ・ガイジ・ユウミンシヨクハマツ
 様 TEL053-457-2495
 (裏面もご覧ください)

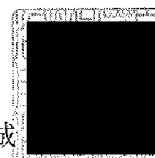
06.520.39 ①

共同利用幹事行 静岡銀行

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 2 年 7 月 2 日

代表者名 渥美 誠



領収証

浜松市議会 自由民主党浜松 様

¥25,000円

但 オンライン同時開催～第22回

地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として

2020年8月21日


上記正に領収いたしました

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

(様式 11)

B70 /

令和 2 年 8 月 31 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥 美 誠 様	
報 告 書	
研修年月日	令和 2 年 8 月 21 日 (金) 1 日間
場所	会派 704 面談室
研修理由	第 22 回地方から考える 「社会保障フォーラム」 『新型コロナと社会保障』他 オンラインセミナー受講
受講者 氏名印	平野 岳子 
(出張の顛末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	

第22回地方から考える「社会保障フォーラム」

オンラインセミナー報告書

自由民主党浜松 平野 岳子

<日時> 令和2年8月21日(金)

<内容> ①「新型コロナウイルス感染症」～対策の現状と今後～

厚生労働省事務次官 鈴木俊彦氏

②「活力ある長寿社会に向けてー地方自治体への期待」

公益財団法人医療科学研究所 理事長、元人事院総裁、元内閣府事務次官

元厚生労働事務次官 江利川 毅氏

③「介護保険制度のこれから」

厚生労働省 老健局総務課企画官 栗原正明氏

④「新型コロナと社会保障」

厚生労働省政策統括官（総合政策担当） 伊原 和人氏

<説明・所感>

新型コロナ対策とコロナ後の社会保障の課題では、『人々の働き方の変化への対応を考えるべき』と指摘。長寿社会では、高齢化・少子化・ひきこもりに対して地方自治体に期待する取り組みの方向を示した。

①「新型コロナウイルス感染症」～対策の現状と今後～

鈴木事務次官は、現在進めている対策を紹介。新型コロナウイルス感染症対策分科会が8月7日に「社会経済と感染対策の両立のための目標と基本戦略」として、科学的な立場からの対策を発出した。基本戦略は3つ。①個人・事業者はともに協力し、感染が拡大しにくい社会をつくる。②集団感染（クラスター）を早期に封じ込める。③重症化予防に取り組むとともに、重症者に対して適切に医療を提供する。

『保健所』は、感染症対策において最前線の最大の砦だ。しかしながら、これまでの保健所の基盤強化を必ずしも行って来なかったことが、国と地方を通じた反省点だ。平成元年から令和2年までの30年余りで、保健所数は848箇所から469箇所にまで減り、職員数も減少した。保健所に保健師数は増えているが、圧倒的に増大したニーズには追いついてこなかったのではないか。地方分権のトップランナーとして、国から地方へ財源と権限が委譲されたが、人員や財源の投入が十分でなかったことは反省し、弾力的に活用できる人材や財源が必要だ。

『検査体制』について2つの点に留意が必要だ。①円滑な検査の流れを作る。②検査のための人員・資材などの蓄積。検査の技術は日進月歩で、PCR検査以外の新しい技術がどんどん開発されている。長所と短所を組み合わせることで効果的で効率的な体制を作り上げていく事が重要だ。

『医療提供体制』は、患者数に応じた病床を確保する計画を各自治体がつくっている。しかしながら、新型コロナ患者を受け入れた病院だけでなく、地域医療全体に及んでおり、受診控えをしたことも影響しているため、地域医療が機能しなくなる事態を避けるためにも支援が必要だ。

また、世界中で流行しているため、どの国も入国禁止措置を含めた『水際対策』を行っているが、日本でも146か国に入国制限をかけている。各空港の検疫所では1日1万件の検査が出来るよう体制を整えている。

『雇用を守る政策』として、雇用調整助成金や休業支援金等、雇用を守り生活支える取り組みも進めている。

『コロナ後の社会保障の課題』として、2040年を見据えると主眼は財政問題ではなく、マンパワーの問題への対応になる。地域共生期期の構築と、国民が共有できる理念の形成が重要。新型コロナ対策で多額の財政投入をしてきたが、コロナ感染の終息後を見据えて社会保障の機能が失われないよう、安心の発信を通じた新たな好循環を目指すべきである。

② 「活力ある長寿社会に向けて―地方自治体への期待」

『高齢化の問題』は、生きがいと生活費、長寿社会の不安解消が課題である。今後の高齢化の実態は、認知症や要介護の方を含む85歳以上の高齢者が増加するということである。

内閣府が行った高齢者の意識調査では、70歳以降まで働くことを希望している人が8割であった。都合のよい時に働く非正規雇用を望んでおり、職場の確保が注目される。

本市においても、「70歳現役宣言」を打ち出し、高齢者活躍宣言事業所を募集している。働きたいと希望する高齢者の願いが叶うよう環境整備が求められている。一生の理解促進を期待する。

『少子化問題』は、国家存亡に関わる重い問題である。しかしながら、結婚・子育ては個人のレベルの問題に還元されている。国家レベルと個人レベルの意識に大きなギャップがあるため、少子化問題は一向に改善できていない。しかしながら、出生率が上昇すれば高齢化率は長期的に低下が見込まれるわけで、そういう意味でも少子化問題は国家の大きな課題として取り組む必要がある。

『就職氷河期世代等への対応』について、貧困高齢者になる前に支援が必要である。非正規雇用は、平成30年時点で約100万人。この他、非正規としても働いていない閉じこもりの方もいる。彼らが高齢になり、親が亡くなった時、あらゆる問題が顕在化するであろう。政府は就職氷河期の30万人を正規雇用にする目標を立てているが、閉じこもっている人たちを含め、基礎自治体として手を差し伸べることは重要な施策である。

③ 「介護保険制度のこれから」

2040年を見据えた改革を介護予防や人材確保を柱に検討している。2025年は団塊世代が75歳以上となる時代だが、2040年は団塊世代が90歳以上となり、介護のニーズが増大、多様化していく世界でもある。介護保険制度の持続可能性の確保のためには、給付と負担についても、不断に見直ししていかなければならない。

コロナ禍での通所サービスにおいて、国は「利用者の同意を得た場合」のみ介護報酬区分を2段階上げることが出来るとしたが、現場から不満の声が寄せられた為、考え方を質した。自己負担が発生することについても、感染症対策を講じたサービスを提供していることで利用者にも還元されていることを理解してほしいとの回答であったが、平時ではない対応に現場の方々の様々な苦悩があることを忘れてはならない。

④ 「新型コロナと社会保障」

今後20年を見据えて①人生100年時代②担い手不足・少子化の克服③新たなつながり・支え合い④生活を支える社会保障制度の維持・発展の4つを軸に考えていくべきと指摘。

特に、過去30年の平成時代から、今後の新たな側面は「人口減少・担い手不足」などを背景とするサービス提供面の持続可能性を考え、改革をしていかななくてはならない。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

(株) 社保研 TIRARE 内

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-5-3 児谷ビル3F

☎ 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028

e-mail

領収証送付の件

地方から考える「社会保障フォーラム」に御参加いただきありがとうございます。

下記の通り、領収証を同封致しましたので、御査収くださいますよう

よろしく願いいたします。

記

領収証 1枚

以上

新型コロナウイルスの感染拡大の影響下、先の見えない状況が続いております。

どうぞご自愛くださいませ。

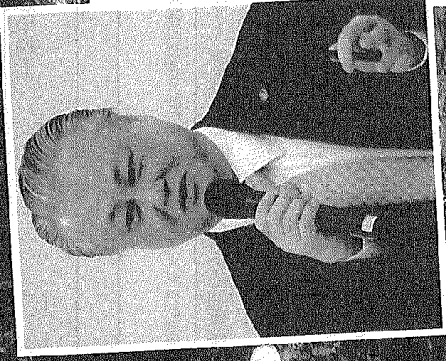
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第22回 社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新の政策動向をつかむ / セミナー開催のご案内

オンライン中継も実施

引き続き、3密を避けた対応が求められることを鑑み、トライアル的にオンラインセミナー対応も実施します。



講師 江利川 毅氏

江利川 毅氏 公益財団法人医療科学研究所 理事長
元人事院総裁、元内閣府事務次官
元厚生労働事務次官

「活力ある長寿社会に向けて一地方自治体への期待」

伊原 和人氏 厚生労働省政策統括官

「新型コロナウイルスと社会保障」一オンライン講義予定

栗原 正明氏 大臣官房企画官 老健局総務課企画官
「コロナと介護事業」

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

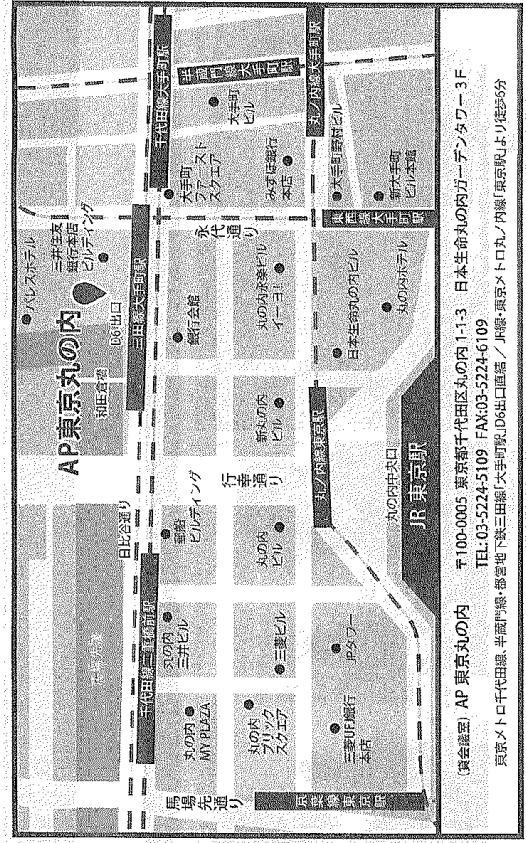
日時 2020年8月21日(金)

参加費 8月11日(水)までに25,000円(消費税込み)をお振込みください。

会場 (貸会議室)AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ビルディング3F

会場定員先着 **40**名
定員になり次第 締切

主催 社会保険研究所 年友企画 株式会社 社会保険出版 株式会社
協賛 社会保険研究所 年友企画 株式会社 社会保険出版 株式会社
後援 社会保険研究所 年友企画 株式会社 社会保険出版 株式会社
お問い合わせ先 社会保険研究所 年友企画 株式会社 社会保険出版 株式会社
TEL 03-3253-0570 / FAX 03-3253-1028



会場案内図

Web版 無料会員登録中です！
医療と介護
https://info.shahoh.co.jp/hiyou/
SINCE 1973
年金時代
https://info.shahoh.co.jp/nenkini/

社会保険旬報 一 医療に関わる全ての情報を提供一
・医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
・介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
・社会保険フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。
●本誌をご希望の方、購読のお申込みしたい方は(株)社会保険研究所までご連絡ください。
TEL: 03-3252-7901(代)

第22回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加申込書

氏名	所屬専攻
〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の3	浜松市議会 自由民主党 議員
〒053-457-2494	電話番号 053-457-2495
053-457-2494	FAX
053-457-2494 (682)	Eメールアドレス(682)
希望の参加方法	必ずしも○をつけてください
<input type="checkbox"/> 会場	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様への案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理に当たっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 FAX 03-3527-1028 または HP <http://tirare.jp/> [セミナーお申し込み] よりお申し込みください。

- お申し込みいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス認証のない場合は、FAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。
- 事務局からメールが届きましたら、メールに記述の口座へ参加費をお振込みください。
- オンライン参加の方には通って振替方法を個別にご案内いたします。

お問い合わせ先 TEL 03-3253-0570 ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

最新の情報は 社会保険研究所のホームページからご確認ください。 <http://tirare.jp/>

PROGRAM 第22回 地方から考える「社会保障フォーラム」

8/21(金)

9:30~	受付開始
9:50~	開講の挨拶、オリエンテーション
10:00~11:00	議題1 「新型コロナウイルスと社会保障」—オンライン講義予定— 伊原和人氏 厚生労働省政策統括官
11:00~11:20	討議(20分間)
11:20~12:30	昼休み
※12:15~12:25	ラウンジセッション (株)社会保険出版社 関宮将人氏「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」
12:30~13:20	議題2 「高齢者が抱える社会保障」 谷野浩太郎氏 社会保障旬報編集長 他
13:20~13:30	休憩(10分間)
13:30~14:30	議題3 「活力ある長寿社会に向けて—地方自治体への期待」 江利川毅氏 公益財団法人医療科学研究所理事長、元人事院総裁、元内閣府事務次官、元厚生労働事務次官
14:30~14:50	討議(20分間)
14:50~15:00	休憩(10分間)
15:00~16:00	議題4 「コロナと介護事業」 栗原正明氏 大臣官房企画官 老健局総務課企画官
16:00~16:20	討議(20分間)
16:20~16:30	休憩(10分間)
16:30~17:30	議題5 「ポストコロナの社会保障」(仮) 厚生労働省で担当者調整中 (決まり次第、TIRAREホームページに掲載いたします)
17:30~17:50	討議(20分間)
17:50~	終了の挨拶 次回開催のお知らせ
18:00	終了

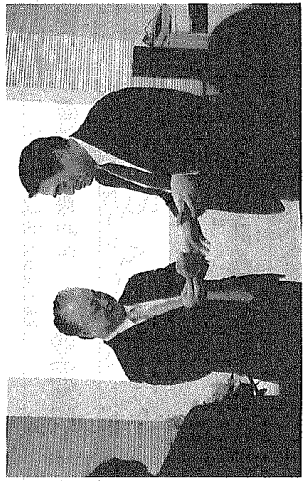
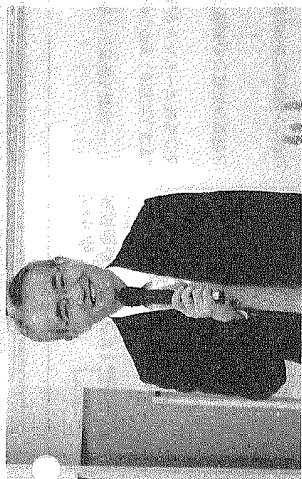
会場内の座席は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場定数よりも半数程度に数を減らした配座とさせていただきます。そのため、今回はオンラインにより同時中継をいたします。

事務所の対応

- ・運営スタッフは、マスク着用で対応させていただきます。
- ・受付付近など会場各所に、アルコール消毒液を配備いたします。
- ・ご来場の皆様におかれましては、マスクの着用をお願いいたします。
- ・会場入口付近での、体温にご協力くださいますようお願いいたします。
- ・発熱、咳等の新型コロナウイルス感染症が疑われる症状をお持ちの方は、感染防止のため、ご入場をお断りいたします。
- ・体調がすぐれないようにお見受けされるご参加者様につきましては、運営スタッフがお声掛けさせていただきます。ご退出をお察いする場合がございます。

また、今後の状況に応じて、延期または全面的にオンラインセミナーとしての開催も想定しております。今後の運轉に關しましては、HPにて告知するとともに、電話・Eメール等で個別にご連絡を申し上げます。日程の変更によりご出席が難しくなされた場合はFAX、メール等でご連絡いただければ幸いです。

第21回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子



サンデー毎日好評連載中!

プロがこっそり教える 読んでトクする社会保障

毎週火曜日発売

週刊誌としては日本で最も古い歴史を持つサンデー毎日に、社会保障に関する最新情報を読者にお届けすべく、私共のフォーラムの運営に協力していただいている専門家が交代で執筆しています(2018.10.28号から)。地方議員の皆様も地域から全国に発信しませんか? 執筆のお問い合わせは事務局までお願いいたします。

[Redacted]

宛先: [Redacted]
件名: 第22回地方から考える「社会保障フォーラム」受付

浜松市議会議員
平野 岳子 様

いつもお世話になっております。
地方から考える「社会保障フォーラム」事務局の [Redacted] と申します。
今回もどうぞよろしくお願いいたします。

この度は、第22回地方から考える「社会保障フォーラム」に
お申込みをいただきましてありがとうございます。
先生のお申し込みを受け付けいたしました。
オンライン受講の接続方法につきましての詳細は、後ほど
ご連絡をさせていただきます。

ご参加費用 25,000 円を 8 月 11 日(水)までに
次の口座にお振込みくださいます様よろしくお願い申し上げます。

.....
【振込先】三菱 UFJ 銀行 神保町支店
【振込口座名】社会保障フォーラム代表 [Redacted]
(シャカイホショウフォーラムダイヒョウ [Redacted])
【口座番号】(普)0506395
.....

- * 領収証をご希望の場合は、メールまたは FAX でご指示ください。ご用意いたします。
- * このメールに添付は付けておりません。ついている場合はお手数ですが
削除して下さいますようお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、 [Redacted] までお願いいたします。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

株式会社 社保研 TIRARE [Redacted]
〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-5-3 尾谷ビル 3F
TEL 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028
HP <http://tirare.jp> e-mail [Redacted]

令和2年7月2日

『社会保障フォーラム』事務局 御中

様

いつも大変お世話になっております。
FAXにて失礼致します。

第22回 地方から考える「社会保障フォーラム」

受講申込日 令和2年7月1日

受講希望者 浜松市議会 自由民主党浜松

平野 岳子【浜松市議会議員】

オンライン受講

上記、8/21開催 セミナー受講の申込受付、誠にありがとうございます。
また、会派室にもFAXをご送付くださりありがとうございました。
本日付で参加費25,000円をお振込みさせていただきました。
ご確認いただき、後日、お手数をお掛け致しますが、
領収書の発行をお願い致します。
宛先は「浜松市議会 自由民主党浜松」名でお願い致します。

以上 宜しく願い申し上げます。

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
浜松市役所内

浜松市議会 自由民主党浜松

TEL 053-457-2495

FAX 053-457-2494

経理担当

51001

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	1	5	4	4	0

- 但し ① 10月29日(木)開催
 (株)地方議会総合研究所主催「議員のための都市計画<基礎編>」
 参加費【オンライン受講費】 15,000円(地方議会総合研究所)
- ② 上記振込み手数料 440円(静岡銀行浜松営業部)

ご利用明細 (共同用) 代金として

ご利用ありがとうございます。
 内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年	月	日	振替先店番・科目・口座番号	234
02	10	01		
銀行番号	店番号	科目	口座番号	
0149				
お取扱店	お取引内容	お取引金額		
0361	お引出し	¥15,000		
お取扱枚数	*****			
	おつり	残	高	

キャッシング	手数料	時刻	お取扱い できない場合	
	¥440	09410020		

お振込先
 ミスヰネ
 コウジマチ
 普通 1314699
 カ)チホウキ、カイソウコウケンキコウ
 ショ様
 トタマコト ハマツツキ、カイソウコウミンコウ
 ドウハマ様 TEL053-457-2495
 (裏面もご覧ください)

06.520.39 共同利用幹事行 静岡銀行

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和2年10月1日

代表者名 渥美 誠

領収証

自由民主党浜松 様

2020年10月1日

No.

金額 **¥15,000**

内	
消費税等	
現金	

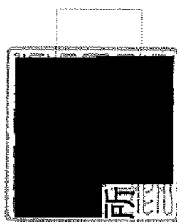
但 10月29日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011


東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



(様式 10)

B1001

令和 2 年 11 月 6 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥美 誠 様	
報 告 書	
研修年月日	令和 2 年 10 月 29 日 (木) 1日間
場 所	会派室
研修理由	(株)地方議会総合研究所 主催 『議員のための都市計画【基礎編】』オンラインセミナー受講
受講者 氏名印	戸田 誠 
(出張の顛末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	

わがまちをデザインする

～議員が知っておくべき都市計画～

令和2年10月29日木曜日 10:00～ WEB

上記講義を受講して、

議員のための都市計画<基礎編>

- 1.はじめに：成人病にかかった日本の都市
- 2.豊かな都市空間を考える
- 3.都市計画の基礎的な仕組み
- 4.コンパクトシティを再考する

を拝聴した。

1. 成人病としたことは、日本の都市発展の仕方にあったことを改めて理解させて頂いた。

・農村集落が広がって集落が点在し、森林など自然的土地利用が広がり道路も集落に対応した「いなか道」のネットワークだったものを、計画を立てずに「いなか道」を利用し、集落単位で発展の骨格構造をもって開発していった為、住宅が無計画のまま、急激人口に伴い急激な住宅開発が行われたことにより、都市としての最低限の道路ネットワーク構築がなされないまま発展してしまったことを指している。今、人口の割に平地の少ない国土の日本の現状が成人病に似ているということであると理解した。

2. 豊かな都市空間を考える

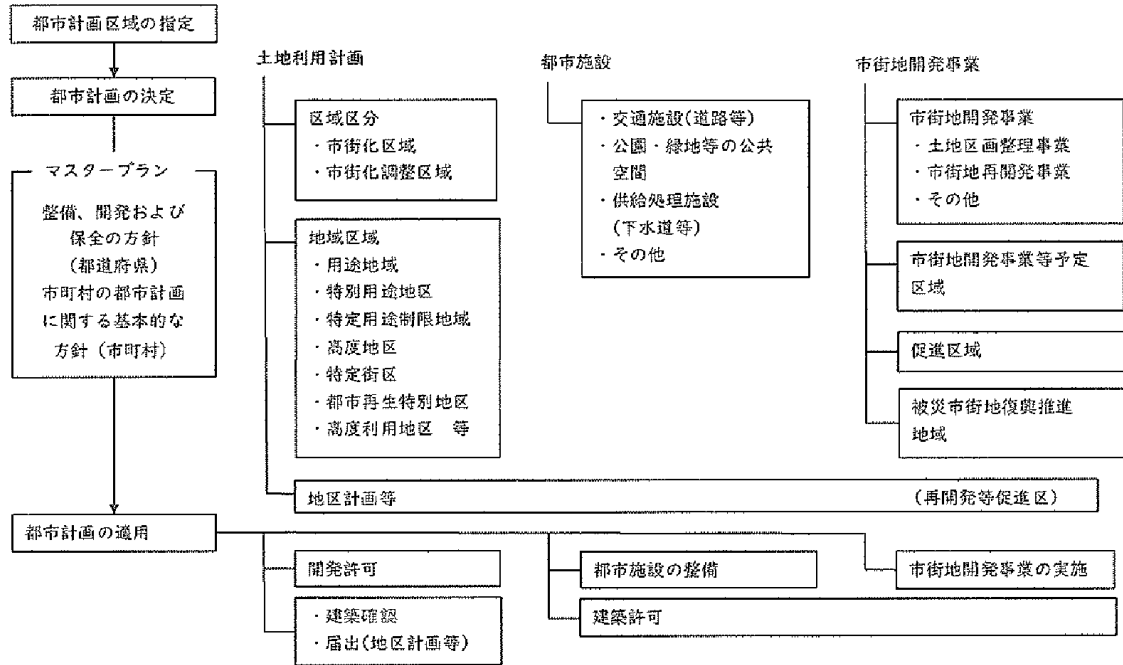
・都市空間が豊かな空間として好まれるのは人それぞれ個人差があり、そのことが大きく影響する。

・個々の経済性を追求するすると、都市空間としての、さらに社会としての豊かさが損なわれる。

・安物買いの銭失いといったものは私たちの生活と同じように都市づくりでも一緒である。

以上なこと踏まえ、豊かな都市空間を考える上では、風土と歴史を活かしながら都市デザインと景観を考える必要がある。その上で、空間をどう効率的に活かすか利用するかを考え、都市としての生活の質を上げることが必要であることが豊かな都市空間を作ることが出来る要素と理解した。

3. 都市計画の基本的な仕組み



上記図が基本的な都市計画の構成になっていることから解るように都市計画は念密な計画をしっかりと立てないと絵に描いた餅になることが良く解る。また、この計画の中に2で描いた豊かな都市空間を考えることおよび成人病にかかっている都市の再生は難しいことが再認識できた。

4. コンパクトシティを再考する。

コンパクトシティは文字通り都市機能の集約であり、拠点に住居を集約していくための手法であり、人口減少の激しい日本にとって持続可能な都市を造るためのひとつの方法であることは間違いない。

コンパクトを保っている地方都市で自動車依存度が進んで状況があり、各世帯で自動車の複数保有化が進んでいることが原因である説明がありました。なるほどです。

このことから、コンパクトシティ施策推進のうえで、単に都市の密度に気を取られるのではなく、そこでの居住者の生活スタイルや行動パターンまで視野に入れた検討が必要であり、今後は、拠点に集約ではなく、拠点を集約へ進むできと講義を受けた。

講義を受けて、改めて都市計画について、勉強させて頂き、自分の知識の再確認が出来たと考えます。都市計画を考える上で重要なことは、そこに住む人が如何に豊かな環境

を享受できる状態を造ることが出来るかだと思いました。しかし、最初の説明のなかで理解したように都市は成人病にかかっている都市計画は非常に難しいと感じました。また、拠点の集約が必要だと説明がありましたが、面積の広い浜松市で拠点の集約を極度に進めることは課題があると考えます。

浜松市としての都市計画を今後も改訂時に浜松にあった計画として検討すべき講義を受け改めて感じる事が出来た。

わがまちをデザインする

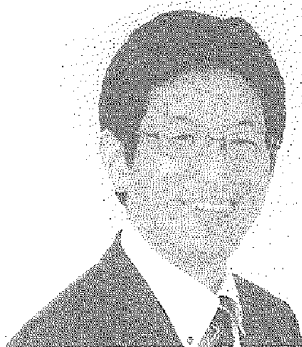
～議員が知っておくべき都市計画～

<概要>

地域活性化、人口減少対策、SDGs、自動運転などのモビリティ・イノベーション、コンパクトシティ、健康まちづくり、社会基盤の維持管理など、現在の自治体行政はまちづくりや都市計画に関係する課題にあふれています。またその中身もコロナへの対応、DX(デジタル・トランスフォーメーション)など時代に応じて急激に変化しており、先を見据えた対応が求められます。この授業では都市計画の基本的な仕組みを理解し、議会対応や住民との対話を進めるうえで知っておく必要のある最新の諸課題を整理するとともに、今後の方向性についても解説を行います。

10/29(木) in 東京

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。



講師 谷口 守
【筑波大学教授】

京都大学工学部助手、カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、筑波大学社会工学系講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、同教授を経て平成21年より現職。国際住宅・都市計画連合(IFHP)評議員、国土審議会・社会資本整備審議会・交通政策審議会専門委員、日本都市計画学会学術委員長・理事などを歴任。著書に『地域・まちづくりワーク：成功に導く進め方と技法』『生き物から学ぶまちづくり』『入門都市計画：都市の機能とまちづくりの考え方』ほか。

■10:00～13:00

議員のための都市計画<基礎編>

1. はじめに：成人病にかかった日本の都市
2. 豊かな都市空間を考える
3. 都市計画の基本的な仕組み
4. コンパクトシティを再考する

■14:00～17:00

議員のための都市計画<応用編>

1. 人口の取り戻し方
2. 環境負荷とSDGs
3. スマート化、サイバー化するまちづくり
4. Beyond コロナのまちづくり

<テキスト>

谷口守：『入門都市計画』森北書店

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加されるセミナーのチェックボックスに をお願いいたします。

フリガナ	トダマコト
お名前	戸田 誠
貴議会名	浜松市議会
領収書お宛名	自由民主党浜松
お住所	(〒430-8652) 浜松市中区元城町103-2
TEL	(053) 457 - 2495
FAX	(053) 457 - 2494
E-mail	

10月29日(木)10:00～13:00 東京
議員のための都市計画<基礎編>

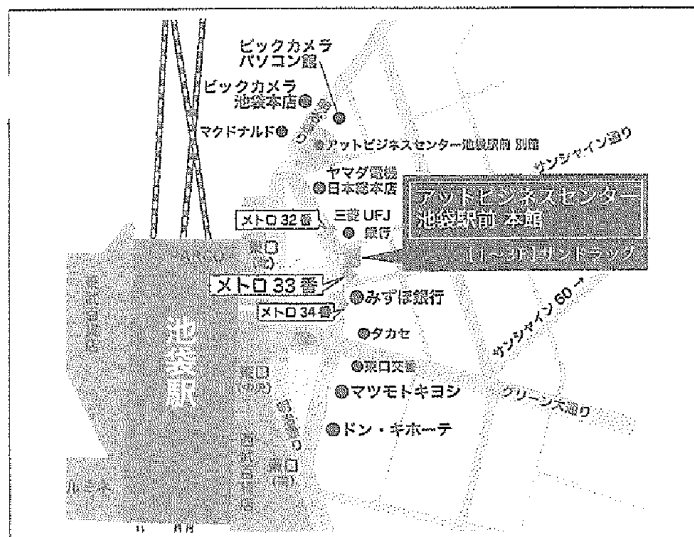
10月29日(木)14:00～17:00 東京
議員のための都市計画<応用編>

※オンラインによる受講をご希望される方は、チェックボックスに をお願いいたします。

オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入下さい。

受講料は受講確認書到着後、事前にお振込をお願いいたします。★キャンセルは7日前までにメール又はFAXにてご連絡下さい。お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。受講確認書をご覧いただき、事前に口座にお振込をお願いいたします。※ホームページでのお申込みの方がスムーズに対応できます。



受講料
各講座 15,000円(税込)
2講座受講 25,000円(税込)
(連続した講座に限る)

開催場所 アットビジネスセンター池袋駅前本館
JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線
地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線
池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

会場—アットビジネスセンター池袋駅前本館 501号室

お問い合わせ・事務局 ※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧下さい。

(株)地方議会総合研究所 〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

FAX 送付状

送付日:2020/9/9
送付枚数:2枚(送付状を除く)
送付先:浜松市議会
戸田 誠 様
FAX番号:053(457)2494

振込は10月に入金
内容確認と修訂
連絡

株式会社 地方議会総合研究所
〒112-0011
東京都文京区千石2-34-6
TEL:03-6912-1930 / FAX:03-6912-2280

- 至急!
- ご確認ください
- 折り返しご連絡ください
- ご参考まで

この度は地方議会議員セミナーにお申し込みいただきありがとうございます。
受講確認書をお送りいたしますのでご査収ください。

令和2年9月9日

浜松市議会

戸田 誠 様

受講セミナー確認書

(株)地方議会総合研究所
代表取締役 廣瀬 和彦

(株)地方議会総合研究所主催セミナーへのお申込みありがとうございました。
以下の内容で申込みを受け付けました。
内容に誤りがないかをご確認ください。誤りや申込み内容に変更がありましたら、弊社宛にFAX又はE-mailにて修正・変更内容のご連絡をしてください。

【申込みセミナー】

東京セミナー 10月29日(木) 議員のための都市計画<基礎編>

合計受講料 15,000円(お一人様・1講座・オンラインセミナー受講)

お申込者姓名：戸田 誠 様

貴議会名：浜松市議会

〒430-8652

住所 浜松市中区元城町103-2

TEL 053(457)2495

FAX 053(457)2494

E-mail

備考 領収書は「自由民主党浜松」様宛

【受講料の事前振込みのお願いと振込みに係る注意事項】

- ① セミナー受講料は10月22日(木)までに次の口座にお振込ください。なお、振込手数料は、各自でご負担願います。

(振込先) 銀行名 みずほ銀行麴町(コウジマチ)支店

口座番号 普通預金 1314699

名義 株式会社地方議会総合研究所(カ)チホウギカイソウゴウ
ケンキュウジョ)

- ②期日までに受講料のお振込がない場合はお申し込みがキャンセルとなる場合がございますのでご注意ください。

- ③お振込みの際には振込者名欄にはお申込みいただいた受講者名をご記入くだ

さい。なお複数名分を一括してお振込の際には、代表者名をご記入ください。

【請求書及び領収書】

請求書は原則として発行しておりませんが、発行をご希望の場合はF a x又はE-m a i lでご連絡いただければ発行いたします。

領収書につきましては、研修会当日に参加をお申込みいただいたお名前でお渡しさせていただきます。但し、お申し込みの際のお名前以外での記載をご希望の場合には、申込書の領収書宛名欄に記載をお願いいたします。

【お申し込み後のキャンセルについて】

お申し込み後、キャンセルされる場合は必ずセミナー開催日の7日前までにF A X又はE-m a i lにてご連絡ください。振込手数料を差し引いた金額をご指定の口座に返還いたします。(返還の際の振込手数料は参加者負担となります。)なお、セミナー開催7日前を過ぎたキャンセルの場合は受講料を返金いたしませんのでご注意ください。

【オンラインセミナーへの変更について】

セミナーが開催される場合は、オンラインによる生中継の視聴が可能です。会場での受講ではなく、オンラインセミナーをご希望の際は、お手数をお掛けしますが、セミナー開催の5日前までに、E-m a i l又はF A Xにて、「オンラインセミナー受講希望」とご連絡ください。ご入金確認後、開催日前に視聴に必要なパスワードをE-m a i lで、セミナー資料を郵送でお送りいたします。

【その他】

参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止、延期させていただく場合がありますので予めご了承ください。

【お申込み・お問い合わせ】

(株)地方議会総合研究所

〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6

TEL 03-6912-1930

FAX 03-6912-2280

E-m a i l

URL <http://www.gikaisoken.jp/>

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	2	5	4	4	0

- 但し ① 11月6日(金)開催
 第23回 地方から考える「社会保障フォーラム」
 参加費【オンライン受講費】 25,000円(社会保障フォーラム事務局)
- ② 上記振込み手数料 440円(静岡銀行浜松営業部)

ご利用明細 (共同用)

代金 として

ご利用ありがとうございます。
 内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年	月	日	振替先店番・科目・口座番号		234
02	10	01			
銀行番号	店番号	科目	口座番号		
0149					
お取扱店	お取引内容	お取引金額			
0361	お引出し	¥25,000			
お取扱枚数 *****					
おつり		残 高			

キャッシング	手数料	時刻	お取扱いできない場合		
	¥440	09430022			

お振込先
 ミツヒ・シー・エフ・シー・イー
 シンホウチヨウ
 普通 0506395
 シヤカイキヨウフォーラム
 様
 ハマツツキ・カイシ・ユウミンシヨウハマツツ
 様 TEL053-457-2495
 (裏面もご覧ください)

06.520.39 共同利用幹事行 静岡銀行

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 2 年 10 月 1 日

代表者名 渥 美 誠



領収証

浜松市議会 自由民主党浜松 様

¥25,000円

但 オンライン同時開催～第23回
地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として
2020年 11月6日


上記正に領収いたしました

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

(様式 11)

B1002

令和 2 年 11 月 13 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥 美 誠 様	
報 告 書	
研修年月日	令和 2 年 11 月 6 日 (金) 1 日間
場所	会派 7 0 3 面談室
研修理由	第 2 3 回地方から考える 「社会保障フォーラム」 『ウイズコロナ社会の課題』他 オンラインセミナー受講
受講者 氏名印	平野 岳子 
(出張の顛末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	

第23回地方から考える「社会保障フォーラム」

オンラインセミナー報告書

自由民主党浜松 平野 岳子

<日 時> 令和2年11月6日(金)

<内 容> ①「ウイズコロナ社会の課題～感染拡大防止と社会経済活動の両立～」

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 審議官 梶尾雅宏 氏

②「これからの地域共生社会と地域福祉」

社会福祉法人 全国社会福祉協議会副会長 古都賢一 氏

③「健康危機管理と災害対策」

厚生労働省大臣官房厚生科学課 健康危機管理・災害対策前室長 高島章好 氏

④「地域包括ケアシステムの構築、当面の諸課題について」

厚生労働省老健局長 土生栄二 氏

<説明・所感>

① 「ウイズコロナ社会の課題～感染拡大防止と社会経済活動の両立～」

緊急事態宣言を解除後、ほぼ半年が経過し、今冬をしっかりと乗り越えるためにこれまでの対応について評価することが必要である。政府より、感染リスクが高まる「5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」が発信された。

新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種については、全額国庫負担で自己負担なし。市町村が実施主体であるが、厚生労働大臣が都道府県知事を通じて市長村長に指示。

令和2年3月の「新型インフルエンザ等対策特別措置法」（特措法）一部改正により、新型コロナウイルス感染症を特措法の対象とした。

② 「これからの地域共生社会と地域福祉」

「2040年問題」とは何か。高齢者が急増する時代から、現役世代の人口が急減する時代」いわゆる人口構造が変化する時代である。

地域福祉の変化から未来を考察するには、問題解決を「制度依存型」から「制度活用型」へ。専門職の多機能化の志向など、さまざまな課題を制度・予算・運用・専門分化にどう向き合っていくかである。

「地域課題にどう向き合うか」地域には多様な生活課題があり、制度・地域資源の「有限」を超えるためには、あるものを探す、活かす、組み合わせてみる、寄って集って則を超える、行政・民間・住民の協働、多様な主体の「相互理解」と「相互支援（協働支援）」。

地域の連携・協働行動は、いわば「科学反応」であり、一緒になってまちを住みよくする「共生進化」ではないか。単独ではなし得ない機能・能力を新たに生み出すことが期待されている。

③ 「健康危機管理と災害対策」

これまでの災害の反省から得た取り組みとして、まず平成 28 年「熊本地震」から「都道府県 保健医療調整本部の体制の見直し」をした。保健医療調整本部と各保健所が連携し、情報収集、ニーズ分析等を一元的に実施し、保健医療活動を総合調整する体制を整備。災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)活動要領の策定を通じて制度化された。

平成 30 年「西日本豪雨」では、医療・保健・福祉の連携体制が構築。「北海道胆振東部地震」ではブラックアウトへの対応が浮き彫りに。

令和元年「台風 15 号・19 号」では、長期停電・広範囲の風水害への対応強化として、非常時の連絡網を国・県・市・施設と共有された。

令和 2 年 7 月「豪雨」では、新型コロナウイルス感染症との複合災害への対応が求められた。国は地方自治体に対し、避難所における新型コロナ対策に必要なガイドラインの周知や、マスク、消毒液等の衛生用品の備蓄等を働きかけてきた。DHEAT 及び厚労省職員を被災自治体に派遣し、支援を実施。新型コロナウイルス感染症と自然災害という複合災害においても、災害医療・保健活動を迅速かつ的確に実施するため、感染症を考慮したうえで、被災地

の医療活動等における留意事項や、自宅療養者、濃厚接触者への対応の考え方などを地方自治体に対して通知している。

本市においても、避難所等における感染症対策を徹底するため、「新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難について」対応方針を策定し、この方針を踏まえ、「避難所運営マニュアル」の追録版が作成された。

一連の過去の災害対応を通じて、今後の有事に対応した備えが大切である。

④ 「地域包括ケアシステムの構築、当面の諸課題について」

高齢者人口がピークを迎える 2040 年を見据えて、人生 100 年時代として担い手不足・人口減少の克服、新たなつながり・支え合い、生活を支える社会保障制度の維持・発展が必要である。

3年ごとに見直し改正される介護保険制度については、令和3年度からの第8期に向けて検討している。地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援、医療・介護のデータ基盤の整備推進があげられる。

さらに、新型コロナウイルス感染症の下で対策と介護予防の推進については、ガイドラインが出された。

認知症施策の総合的な推進についても一層対策を強化する必要がある。高齢者の5人に1人発症するといわれる認知症に対し、「共生」と「予防」を車の両輪として推進していく必要がある。

介護サービス基盤整備、介護人材の確保・介護現場の革新は極めて重要である。特に、介護人材確保策としてこれまでも様々対策を講じてきたが、さらに講じる必要を感じる。介護職員の処遇改善は他産業と遜色ない賃金水準を目指し、経験・技能のある介護職員に重点化した更なる処遇改善、離職防止、定着促進等取り組んでいただきたい。また、介護現場革新については、業務省力化を目的に、ICTや介護ロボットなどのテクノロジーを駆使した技術の開発が進んでいるが、普及のためにも効果的な技術導入を促進することが課題と考える。

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

第23回

最新政策動向をつかむ
セミナー開催のご案内

オンライン中継も実施

引き続き、3密を避けた対応が求められることを鑑み、
トリアル的にオンラインセミナー対応も実施します。



土生 榮二氏 厚生労働省老健局長
「コロナ禍に於いての介護保険事業
～地方自治体の役割～(仮題)」



梶尾 雅宏氏
内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 内閣審議官
「ウイズコロナ社会の課題
～感染拡大防止と社会経済活動の両立(仮題)」



古都 賢一氏 社会福祉法人 全国社会福祉協議会副会長
「これからの地域共生社会と地域福祉(仮題)」

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や
専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待
ちしております。

※第23回地方から考える「社会保障フォーラム」
セミナーの様子

日時 2020年11月6日(金)

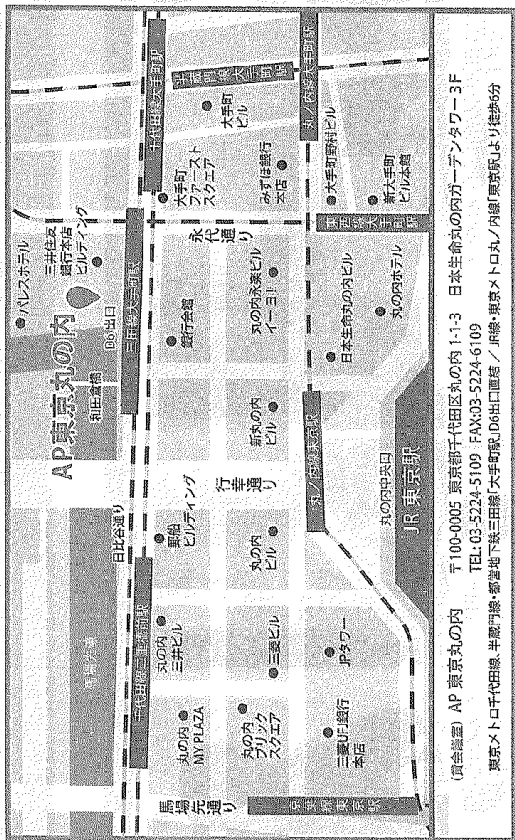
参加費 10月27日(火)までに 25,000円(消費税込み) をお申込みください

会場 (社会福祉会) 大塚市民会館の内の3日本生会館の内の1号館1005号室
東京都千代田区北の丸1-3-1005

会場定員特注
40名

定員に限り次第
予約

主催 社会保険旬報 社会保険研究所 社会保険出版社 株式会社
地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒100-0067 東京都千代田区千代田1-1-1 社会福祉会ビル1005号室
TEL 03-3253-0570 FAX 03-3253-0570
社会保険研究所 社会保険出版社 株式会社



会場案内図

Web版 無料会員登録中です!

医療と介護
https://info.shahio.co.jp/ryou/
SINCE1978
年金時代
https://info.shahio.co.jp/nenkini/

社会保険旬報 一医療に関わる全ての情報を提供一
医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることが出来ます。
社会保険フォーラムをタイジェストで講師のご講演の要旨と「討論」の概要を掲載。

興味のある方、購読のお申込みをいただける方は(株)社会保険研究所までご連絡ください。
TEL: 03-3252-7901(代)

第23回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加申込書

お名前	フリガナ 平林 宏子	所属先 浜松市議会 自由民主党派
〒	〒0000-0000	電話番号 053-457-2495
ご住所	〒430-8682 浜松市中区元城町103番地の2	FAX 053-457-2494
参加の希望	<input type="checkbox"/> 会場 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン (いずれかに○をつけてください)	

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内、情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

FAX 03-3527-1028 または

HP <http://tirare.jp/> [セミナーお申し込み] よりお申し込みください。

●お申し込みをいただいた方には事務部から受付完了のメールアドレス記載のない場合は FAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご連絡ください。

●事務局からメールが届きましたら、メールに記載の口座へ参加費をお振込みください

●オンライン参加の方は体は通って参加方法を都度メールにてご連絡いたします。

TEL 03-3253-0570 ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

社会保険旬報編集部 TEL 03-3253-0570 FAX 03-3253-0570 <http://tirare.jp/>

11/6 (金)

9:30~	受付開始
9:50~	開講の挨拶、オリエンテーション
10:00~11:00	議題1 「ウィズコロナ社会の課題～感染拡大防止と社会経済活動の両立(仮題)」 梶尾雅宏氏 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 内閣審議官
11:00~11:20	討議(20分間)
11:20~12:20	昼休み ※12:05~12:15 (株) 社会保険出版社 間宮 将人氏「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」
12:20~12:50	議題2 「コロナ禍の職場不応答(仮題)」 白崎 哲史氏 株式会社フェイスメック 議題3 「地域医療構想に基づく提供体制整備の行方(仮題)」 谷野 浩太郎氏 社会保険旬報編集長
12:50~13:00	休憩(10分間)
13:00~14:00	議題4 「これからの地域共生社会と地域福祉(仮題)」 古都 賢一氏 社会福祉法人 全国社会福祉協議会副会長
14:00~14:20	討議(20分間)
14:20~14:30	休憩(10分間)
14:30~15:30	議題5 「旭康危機管理と災害対策(仮題)」 厚生労働省で担当者調整中
15:30~15:50	討議(20分間)
15:50~16:00	休憩(10分間)
16:00~17:00	議題6 「コロナ禍に於いての介護保険事業～地方自治体の役割～(仮題)」 土生 栄二氏 厚生労働省老健局長
17:00~17:20	討議(20分間)
17:20~	終了の挨拶 次回開催のお知らせ
17:30	終了

会場内の座席は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場定数よりも半数程度に数を減らした配置とさせていただきます。そのため、今回はオンラインにより同時中継をいたします。

- 中継の対応**
- ・運営スタッフは、マスク着用で対応させていただきます。
 - ・受付付近など会場各所に、アルコール消毒液を配備いたします。
 - ・会場の整理におかれましては、マスクのご着用をお願いいたします。
 - ・会場入口付近での、検温にご協力くださいますようお願いいたします。
 - ・体調がすぐれないようにお見受けされるご参加者様につきましては、運営スタッフがお声掛けさせていただきます。ご退出をお願いする場合がございます。

また、今後の状況に応じて、延期または全面的にオンラインセミナーとしての開催も想定しております。今後の連絡に關しましては、HPにて告知するとともに、電話・Eメール等で個別にご連絡を申し上げます。日程の変更によりご出席が難しくなられた場合はFAX、メール等でご連絡をいただければ幸いです。

第22回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子



オンラインで参加者様へ

当日はZOOMのウェビナー機能を活用したセミナーを受講していただきます。ウェビナーはミーティング機能と異なり、聴講者の先生方のカメラや音声が通常はオフになっており、ご質問をいただいたときのみ、質問者の先生の音声とカメラをオンにすることが出来る機能です。パソコン・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。

※パソコンを使用する場合は、webカメラ(内蔵webカメラでも可)が必要です。 ※ネットワーク環境が安定した場所からご参加くださいますようお願いいたします。 なお、ZOOMによる参加をされるうえでのPC等の推奨環境は「700Mヘルプセンター」Windows、macOS、Linuxのシステム要件をご確認ください。 お申込者ご本人のみ参加、ご視聴いただけます。セミナーの録音・録画もご視聴いただけますようろしくお願いいたします。

サンデー毎日好評連載中!

プロがこっそり教える
読んでトクする社会保障

毎週火曜日発売

週刊誌としては日本で最も古い歴史を持つ『サンデー毎日』に、社会保障に関する最新情報を読者にお届けすべく、私共のフォーラムの運営に協力していただいている専門家が交代で執筆しています(2018.10.28号から)。地方議員の皆様も地域から全国に発信しませんか? 執筆のお問い合わせは事務局までお願いいたします。

第 23 回地方から考える「社会保障フォーラム」受付

浜松市議会議員
平野岳子 様

いつもお世話になっております。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局の[]と申します。
今回もどうぞよろしくお願いいたします。

この度は、第 23 回地方から考える「社会保障フォーラム」にお申込みをいただきましてありがとうございます。先生のお申し込みを受け付けいたしました。

ご参加費用 25,000 円を 10 月 27 日(火)までに
次の口座にお振込みくださいます様よろしくお願い申し上げます。

.....
【振込先】三菱 UFJ 銀行 神保町支店
【振込口座名】社会保障フォーラム代表 []
(シャカイホショウフォーラムダイヒョウ [])
【口座番号】(普)0506395

.....
* 領収証をご希望の場合は、メールまたは FAX でご指示ください。ご用意いたしません。

資料と事前接続テストにつきまして

資料は事務局に揃い次第、セミナー前日までに別途「資料ご案内」のメールをいたします。

URL からダウンロードしていただきますようよろしくお願いいたします。

資料には最新情報を反映したいとの事で、セミナーの前日に事務局にいただくこともあり、

紙ベースの事前郵送はお約束が出来ませんことをご了承いただけましたら幸いに存じ

ます。

また、開催の1週間前位を目途に「事前接続テスト」のご連絡をいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、までお願いいたします。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

☆☆☆***☆☆☆***☆♪☆☆***☆☆***☆☆☆

株式会社 社保研 TIRARE 

〒101-0047

東京都千代田区内神田 2-5-3 兎谷ビル 3F

TEL 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028

HP <<http://tirare.jp/>> <http://tirare.jp> e-mail

<<mailto:>

☆☆☆***☆☆☆***☆♪☆☆***☆☆***☆☆☆

領収証送付につきまして 第23回地方から考える「社会保障フォーラム」

2020年11月15日

株式会社社保研 TIRARE

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3

児谷ビル3F

☎ 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028

e-mail

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

地方から考える「社会保障フォーラム」にご参加をいただきありがとうございます。

領収証を同封いたします。ご査収くださいますようお願いいたします。

よろしければまた、フォーラムでお会いできることを楽しみにしております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響下、先の見えない状況が続いております。

どうぞご自愛くださいませ。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

(様式6)

B1003

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和 2 年 10 月 26 日 (月) 1日間		
出張先 (目的)	東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム 『狭隘道路整備促進に関する法制定の必要性について』		
出張者氏名	倉田 清一		
旅 費 額 内 訳			
項 目	金 額	備 考	
交通費	16,350 円	JR切符代 (浜松-東京 往復) 【12,950 円+3,400 円 乗車・特急券】	
目 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1日 × 1名分	
合 計	17,850 円		

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	1	7	8	5	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 2 年 10 月 27 日

代 表 者 会 長 渥 美 誠



<詳細>

領収書 裏面添付

【行程】

浜松駅 新幹線 === 東京駅 徒歩 …… 会場 徒歩 …… 東京駅 新幹線 === 浜松駅

(様式6)

<別紙 領収書添付欄 1>

領 収 書
 Receipt 浜松市議会 自由民主党浜松
 領収年月日 2020.10.26
 金額 ￥12,950 (消費税等込み)
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets
 (50005 3枚)
 東海旅客鉄道株式会社
 浜松駅
 浜松駅MV2発行 60006-02

行 普通車 指定席 8440円
 帰 自由席 7910円

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

駅-No 440101 領収書-No 186
 窓口-No 377

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松

金額 ￥3,400円
 「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2020年10月26日
 東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

東京駅

現金出納社員



令和 2 年 10 月 13 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 渥美 誠 様

申請議員 倉田 清一



出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

倉田 清一 議員

2 期間及び出張先

令和 2 年 10 月 26 日 (月)

東京都千代田丸の内 3 丁目 5 番 1 号 東京国際フォーラム ホールB

3 目的

土地家屋調査士制度制定 70 周年記念シンポジウム

「狭隘道路整備促進に関する法制定の必要性について」

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会 派 名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 ㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

つながる安心と ひろがる未来を考える

～令和時代、土地家屋調査士の使命～

日時：2020年10月26日（月）13:00 [開場12:30] ～17:45

会場：東京国際フォーラム ホールB

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 TEL 03-5221-9000 (代)

内容 (予定)

- 主催者挨拶** 「今、土地家屋調査士は何をなすべきか!」 日本土地家屋調査士会連合会会長 國吉 正和
- 記念講演** 「揺れ動く時代における専門家」 前最高裁判所長官 寺田 逸郎 氏
- 討論** 「法改正!土地家屋調査士の使命」
中央更生保護審査会委員長 (元東京高等裁判所長官) 倉吉 敬 氏
日本土地家屋調査士会連合会会長 國吉 正和
日本土地家屋調査士会連合会副会長 鈴木 泰介
- 提言** 「法制定!狭あい道路解消の可能性について」 参議院議員 (土地家屋調査士) 豊田 俊郎 氏
- 意見発表** 「狭あい道路整備促進の必要性について」
国土交通省住宅局市街地建築課長 宿本 尚吾 氏
岡崎市建築部次長 田口 富隆 氏
土地家屋調査士 米澤 實 氏
- 基調講演** 「防災・減災・国土強靱化!!
～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～」 内閣官房長官 菅 義偉 氏
- 宣言** 「土地家屋調査士70年宣言」 日本土地家屋調査士会連合会会長 國吉 正和



土地家屋調査士とは

土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家であり、そのために必要な調査・測量、申請手続等を業とする唯一の国家資格者です。

シンポジウム開催の趣旨・目的

土地家屋調査士は70年間、国民の安心と安全な暮らしを提供するために活動をしてきました。今般、土地家屋調査士法が改正されたことによって、土地家屋調査士法第1条が目的規定から使命規定に改正され、資格者としての位置づけとその責任がより明確にされました。

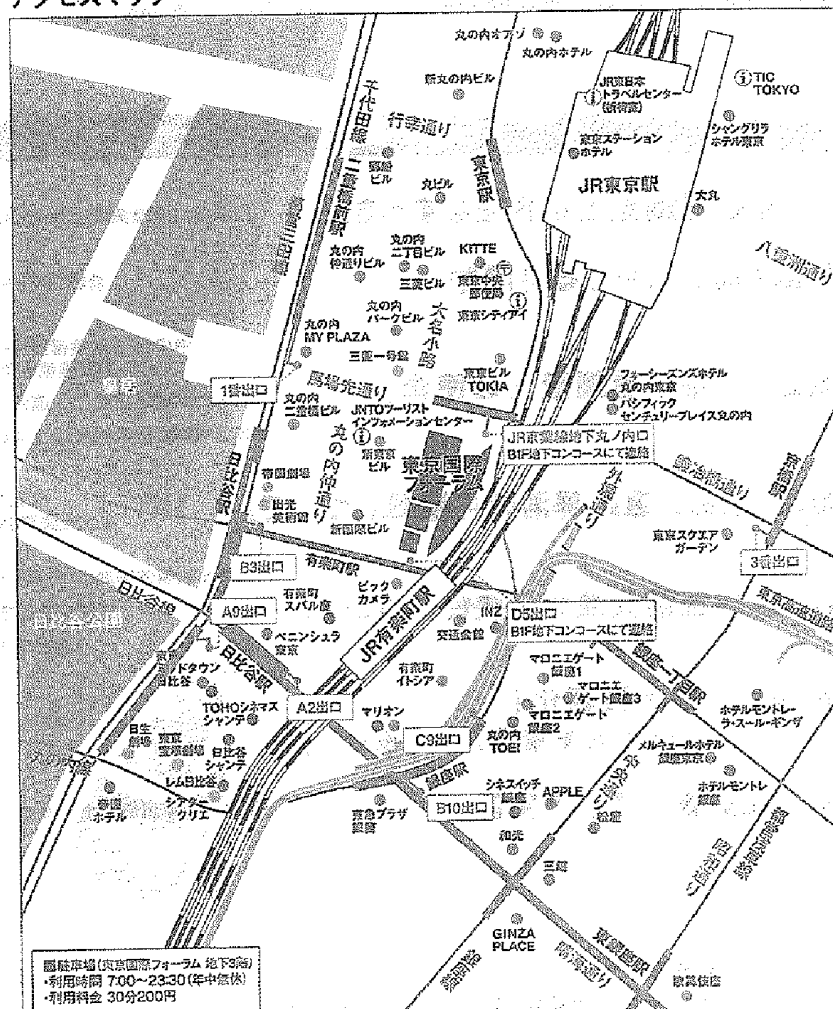
土地家屋調査士法

(土地家屋調査士の使命)

第1条 土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、不動産に関する権利の明確化に寄与し、もって国民生活の安定と向上に資することを使命とする。

今、私たち土地家屋調査士は業務形態の変革に向けて、意識と行動を変える時期を迎えました。近年、人口減少と高齢化社会、異常気象と自然災害、社会インフラの老朽化といった社会問題の中において、「土地家屋調査士すべきこと」は、空き家と所有者不明土地問題、防災・減災とまちづくりへの貢献です。この生活の基盤となる問題に私たち土地家屋調査士が、役立つ資格者であるという強いメッセージを発信し、国民生活の安心・安全と未来のまちづくりに寄与していくため、日本土地家屋調査士会連合会は、全国土地家屋調査士政治連盟、全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会と共催し、行政、官庁、関係団体、そして国民の皆様と結び合い、目的意識を共有するために土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウムを開催いたします。

アクセスマップ



※ 当日の天候、災害、国会の日程、新型コロナウイルス感染症等の状況により事前の告知なくプログラムを変更する場合がございます。

土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム

開催のご案内（お願い）

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私達土地家屋調査士は制度制定70周年を迎え、下記及び裏面にてご案内のとおり記念シンポジウムを開催することとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策をしっかりと講じ実施いたしますので、なにとぞ多くのご来臨を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ソーシャルディスタンスを保てる配席等への対応を図るため、誠に恐縮ですが、事前にご登録を賜りたくお願い申し上げます。

記

日 時 令和2年10月26日（月） 午後1時～午後5時45分
場 所 東京国際フォーラム ホールB
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 TEL 03-5221-9000（代）

待にご来場いただきたい時間帯は下記のとおりであります。

進行予定（抜粋）

15:20～15:50	提 言 『法制定！狭あい道路整備促進の可能性について』 参議院議員（土地家屋調査士） 豊田俊郎 氏
15:55～16:50	意見発表 『狭あい道路整備促進に関する法制定の必要性について』 国土交通省住宅局市街地建築課長 菅本尚吾 氏 岡崎市建築部次長（住環境整備課長兼務） 田口富隆 氏 静岡県土地家屋調査士会名誉会長 米澤 實 氏
16:55～17:25	基調講演 『防災・減災・国土強靱化！！』～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～ 内閣官房長官 菅 義偉 氏

事前登録用紙 (FAX 返信用紙)

FAX : 03-3292-0059

土地家屋調査士制度制定 70 周年記念シンポジウムに出席します。


くら た せい い ち
御芳名 (ふりがな) 倉田 青一

※ 誠に勝手ながら、来場のご登録につきましては、来る 9 月 30 日 (水) までに FAX
にてご回報賜りますようお願い申し上げます。

* 申込期限は過ぎておりますが、まだお席に若干の余裕がございますので、ぜひご来臨
くださいますようお願い申し上げます。

(様式 11)

B1003

令和 2 年 10 月 27 日 提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥 美 誠 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 2 年 10 月 26 日 (月) 1 日間
出張先	東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 東京国際フォーラム ホール B
出張の理由	土地家屋調査士制度制定 70 周年記念シンポジウム 『狭隘道路整備促進に関する法制定の必要性について』
出張者 氏名印	倉田 清 
(出張の顛末) 別紙 報告書の通り	
(備考)	

視 察 報 告 書

浜松市議会議員 倉田清一

- 1 視 察 日：令和2年10月26日
- 2 視 察 先：東京国際フォーラム
- 3 視察内容：土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム
 - ①土地家屋調査士法の一部改正について
 - ②「防災・減災・国土強靱化！～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～」
 - ③狭あい道路整備促進の必要性について
- 4 視察目的：
 - ①まちづくりにおける土地家屋調査士の役割を調査し、本市行政と土地家屋調査士とのあるべき良好な関係を構築する。
 - ②本市の狭あい道路整備の課題と他市の整備状況を調査し、本市の狭あい道路整備の促進するための施策を構築する。
- 5 視察資料：
 - ①別紙のとおり
 - ②別紙のとおり
 - ③別紙のとおり
- 6 所 感：
 - ①今回の法改正で、「土地家屋調査士は不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、・・・」その使命を明らかにする規定が設けられると同時に、現状に即して、懲戒手続きの適正かつ合理化が図られた。専門家としての立場が明確化したことにより、空家問題や所有者不明土地問題への対応や自然災害における復興支援等に参画する機会が増えるなど、益々、行政との関りが強くなることが期待できる。
 - ②国土強靱化の対策として必要なインフラ整備や、災害が発生した際の円滑

な復旧・復興やまちづくりを進める上では、土地の基本的な情報である境界が明確になっていることが重要である。土地の境界等が明確になっていない場合、用地取得等に支障が生じ、事業期間が延び、コスト増加にも繋がる可能性がある。地籍調査を推進していく必要があるが、現状、地籍調査優先実施地域の進捗状況は79%（対象地域全体では52%）と遅れている状況である。このため国は、土地基本法等の一部を改正し、新たな国土調査事業十箇年計画を策定し地籍調査を推進するとともに、地籍調査の円滑化・迅速化を図るため、現地調査等の調査手続きの見直しや、地域特性に応じた効率的調査手法を導入するなどの見直しを行った。本市も国のこうした動きを敏感に捉え、遅れている地籍調査等を推進する必要があると考える。

- ③建築基準法は昭和25年に制定され、建築物の敷地や構造などに関する基準を定めるとともに、都市計画区域内の敷地は、原則4m以上の道路に接することが規定されている。しかし、4m未満の道路でも、建築基準法が適用される以前から建築物が立ち並んでいる道路は、原則、道路中心線から2mの道路後退をすることで幅員4mの道路とみなすことができると規定（42条第2項）されている。

現在、全国の住宅数は約6,240万戸で、その内、4m未満の道路に接道しているのは約1,900万戸（約32%）とのことである。また、現在、狭い道路事業は総合交付金事業で進められているが予算が不足しており、全国土地家屋調査士連合会では個別補助事業化への要望活動を行っている。

本市の狭い道路事業も予算確保に苦勞していることから、静岡県土地家屋

調査士会と連携して、個別事業化に向けた意見書の提出や要望活動をする必要があると考える。また、他市の事例発表では、後退部分の道路用地の管理が画一化されておらず、本市のように市管理の道路用地として寄付を受ける制度を導入しているのは稀で、本市は先進市とも言える。一方、予算上の都合で市街化区域のみ対象としているが、本来、都市計画区域全域を対象とすべきであることから、また、国土強靱化の観点からも、個別事業化に向け、会派としても要望活動していきたい。

土地家屋調査士制度制定 70 周年記念シンポジウム

日 時 令和 2 年 10 月 26 日 (月) 午後 1 時 ～ 同 5 時 45 分
場 所 東京国際フォーラム ホール B 7
主 催 日本土地家屋調査士会連合会
共 催 全国土地家屋調査士政治連盟、全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会
後 援 総務省、国土交通省、法務省

<プログラム>

総合司会 きたおか まお氏 (フリーアナウンサー)

13:00 開会の辞 小野 伸秋 (日本土地家屋調査士会連合会副会長)

13:05 主催者挨拶 『今、土地家屋調査士は何をなすべきか!』
國吉 正和 (日本土地家屋調査士会連合会会長)

13:20 記念講演 『揺れ動く時代における専門家』
寺田 逸郎氏 (前最高裁判所長官)

(設営 5分)

14:05 討 論 『法改正!土地家屋調査士の使命』
倉吉 敬氏 (中央更生保護審査会委員長・元東京高等裁判所長官)
國吉 正和 (土地家屋調査士・日調連会長)
鈴木 泰介 (土地家屋調査士・日調連副会長)

(休憩 15分)

15:20 基調講演 『防災・減災・国土強靱化!!』
～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～
和泉 洋人氏 (内閣総理大臣補佐官)

(設営 5分)

15:55 意見発表 『狭あい道路整備促進の必要性について』
宿本 尚吾氏 (国土交通省住宅局市街地建築課長)
田口 富隆氏 (岡崎市建築部次長)
米澤 實氏 (土地家屋調査士)

(設営 5分)

16:55 提 言 『法定!狭あい道路整備促進の可能性について』
豊田 俊郎氏 (参議院議員・土地家屋調査士)

17:25 土地家屋調査士70年宣言

17:40 閉会の辞 椎名 勤 (全国土地家屋調査士政治連盟会長)

17:45 終 了


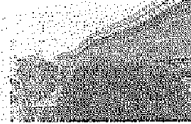

防災・減災・国土強靱化！！

～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～

令和2年10月26日

過去の大災害の教訓

～「強くて、しなやかな」国づくりが必要～

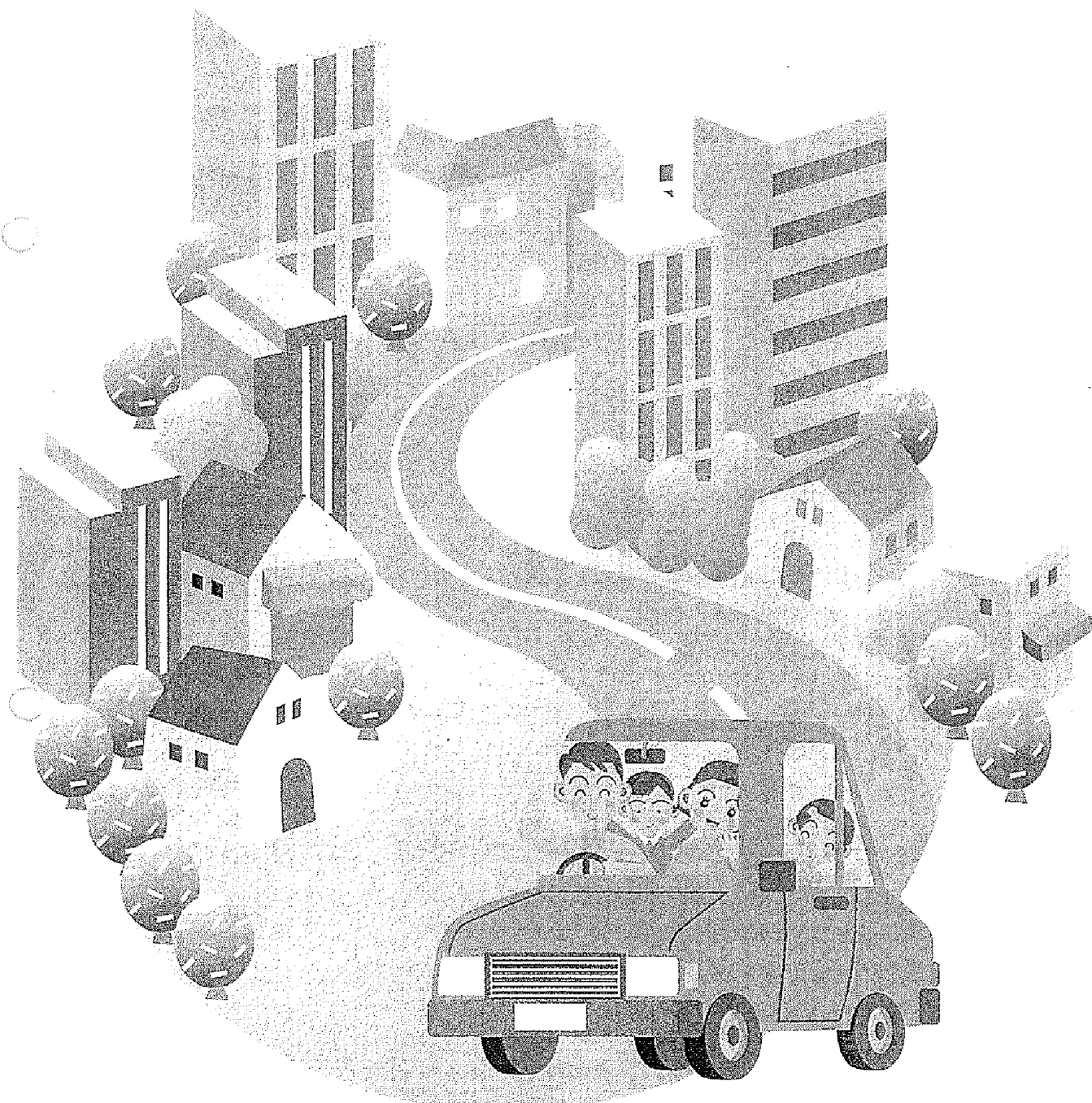
伊勢湾台風(1959年)	阪神・淡路大震災(1995年)	東日本大震災(2011年)
多数の死者・行方不明	建築物・高架橋等の倒壊 市街地延焼火災の発生	大規模津波による被害 帰宅困難者の発生
 伊勢湾台風の被害状況 (1959年・1959)	 阪神淡路道路の高架橋の倒壊 (1995年・1995)	 津波による被害と避難所による 行方不明者の発生状況 (2011年・2011)
「災害対策基本法」制定	耐震化・密集市街地対策 自助・共助の大切さ	ハード中心の対策の限界 防災教育の重要性

死者	4,697人	6,434人	19,074人
行方不明者	401人	3人	2,633人
負傷者	38,921人	43,792人	6,219人
全半壊家屋	153,890棟	249,180棟	400,629棟
被害額	約0.5兆円	約10兆円	約17兆円

1

狭い道路の拡幅整備にご協力ください

安全で快適な まちづくりのために

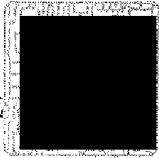


浜松市狭い道路の拡幅整備に関する条例
「狭い道路の拡幅整備事業」

浜松市

(様式6)

B1101

旅 費 支 払 証 明 書																						
出張年月日	令和 2 年 11 月 19 日 (木) 1日間																					
出張先 (目的)	静岡市 静岡商工会議所 『With コロナ時代の防災対策』 シンポジウム参加																					
出張者氏名	須藤 京子	平野 岳子	露木 里江子	小野田 康弘																		
	神間 郁子	稲葉 大輔		【計6名】																		
旅 費 額 内 訳																						
項 目	金 額	備 考																				
研修費	30,000 円	11/19 参加費 @ 5,000 円 × 6名																				
日 当	9,000 円	@ 1,500 円 × 1日 × 6名分																				
交通費	9,320 円	①②新幹線切符代 (浜松駅-静岡駅 往復) 【@4,660 円 × 2名分】																				
"	12,540 円	③新幹線回数券代 (浜松駅-静岡駅 6枚/1冊) 【往復 3名分】																				
"	4,660 円	④⑤切符購入代 (浜松駅-静岡駅 往復) 【@2,330 円 × 2枚 1名分】																				
"	▲ 46 円	上記④⑤クレジットカード支払 付与ポイント換算分減額																				
		<small>(付与ポイント数が不明であるため、一般的な付与割合である100円 = 1ポイント = 1円を仮定)</small>																				
合 計	65,474 円																					
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">金 額</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">拾</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">万</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">千</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">拾</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">¥</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> </tr> </table>					金 額		百	拾	万	千	百	拾	円		¥		6	5	4	7	4	
金 額		百	拾	万	千	百	拾	円														
	¥		6	5	4	7	4															
上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。																						
令和 2 年 11 月 20 日																						
代 表 者 会 長 渥 美 誠																						
																						
<詳細> 参加費領収書 6枚 ・ 新幹線切符領収書①～⑤ 別紙添付																						

(須藤議員分)

令和2年11月19日

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松
様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セ
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同和

セ 経 一
セ ン ン 社

(平野議員分)

令和2年11月19日

領 収 書

自由民主党浜松
様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セ
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同和

セ 経 一
セ ン ン 社

(稲巻議員)

令和2年11月19日

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セシダ社
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同

(松本議員分)

令和2年11月19日

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セシダ社
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同

(小野田議員分)

令和2年11月19日

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セシダ社
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同

(神岡議員分)

令和2年11月19日

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松様

¥5,000-

但 防災 Web セミナー会費として
上記正に領収いたしました

一般社団法人 公共経営研究セシダ社
東京都中央区銀座 7-2-22 銀座同

⑦

領収書 濱松市議会 自由民主党 浜松様

Received by 2020.11.19

領収金額 ¥4,660 (消費税等込み)

上記金額に領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 4枚

(40130 東海旅客鉄道株式会社 浜松駅)

50131-02

印刷税申告納付につき古屋中村 税務署承認済

⑧

領収書 濱松市議会 自由民主党 浜松様

Received by 2020.11.19

領収金額 ¥4,660 (消費税等込み)

上記金額に領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 4枚

(40130 東海旅客鉄道株式会社 浜松駅)

30094-02

印刷税申告納付につき古屋中村 税務署承認済

③

領収書 No 66
巻口 No 3

収 入 票

5201270

浜松市議会 自由民主党 浜松様

金額 ¥12,540円
〔消費税等込み〕

但し、乗車券類として

上記金額に領収しました

2020年11月19日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印刷税申告納付につき古屋中村 税務署承認済

浜松駅

現金払込印

ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社

Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

自民党浜松

様

予約番号
RESERVATION NUMBER 2252

クレジットカード番号
CARD NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT **¥2,330**
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

きっぷのご購入代金
Tickets price

購入日
DATE OF PURCHASE 2020年11月19日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 11月19日

列車名・券種
利用区間
E X自由席
浜松
FROM

静岡
TO

¥2,330



ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

自民党浜松

様

予約番号
RESERVATION NUMBER 2253

クレジットカード番号
CARD NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT

¥2,330
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

きっぷのご購入代金
Tickets price

購入日
DATE OF PURCHASE

2020年11月19日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

11月19日

列車名・券種
利用区間

E X 自由席
静岡
FROM

浜松
TO

¥2,330



(様式8)

令和 2 年 11 月 16 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 渥美 誠 様

申請議員 須藤 京子  印

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

須藤 京子 平野 岳子 稲葉 大輔
露木里江子 小野田康弘 神間 郁子 (以上 6 名)

2 期間及び出張先

令和 2 年 11 月 19 日 (木) 1 日間
静岡市


3 目的

先進地方議員 Web セミナー & 静岡大会 セミナー参加
「With コロナ時代の防災対策」

視察依頼書送付願

平成 年 月 日

浜松市議会議長 様

会 派 名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名  印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

防災 Web セミナー

熊本市長が語る

With コロナ時代の防災対策

静岡市長・浜松市長と徹底討論！

共催 一般社団法人 災害時電源等派遣互助協会
特定非営利活動法人 公共政策調査機構

【先進地方議員 Web セミナー & 静岡大会】

申込みは Peatix
にアクセス！

11月19日(木)16:00~



※ 静岡商工会議所にて、静岡大会を同時開催！

<https://peatix.com/event/1643471/view>

With コロナ時代の防災対策

【プログラム】16:00~18:00

◆基調講演：「令和2年7月九州豪雨災害の教訓」

大西 一史 熊本市長

◆報告：「コロナ禍の災害に備える～EVによる被災地電源支援」

篠田 昭 (一社)災害時電源等派遣互助協会 代表理事

◆パネル討論：「With コロナ時代の防災対策を問う」

鈴木 康友 浜松市長・田辺 信宏 静岡市長

大西 一史 熊本市長

濱口 和久 拓殖大学特任教授/防災教育研究センター長

コーディネーター 篠田 昭 前新潟市長

【参加費】Web参加 2,000円

※内容は変更となる場合があります

【申込方法】

Web セミナー参加の方は上の URL、または QR コードからアクセスして、手順に従ってお申込み下さい。

一般社団法人 公共経営研究センター

代表理事 河内山哲朗(元柳井市長)

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-2-22

銀座同和ビル 3F







Tel 03-6550-8550 Fax 03-6550-8561

事務局長 平井竜一(前逗子市長)

Web : www.kokyokeiei.org

E-mail : info@kokyokeiei.org

(様式 11)

令和 2 年 11 月 20 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥美 誠 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 2 年 11 月 19 日 (木) 1日間
出張先	静岡市 静岡商工会議所
出張の理由	先進地方議員 Web セミナー&静岡大会 「With コロナ時代の防災対策」 セミナー参加
出張者 氏名印	須藤 京子  平野 岳子  稲葉 大輔  露木里江子  小野田康弘  神間 郁子  (上記 6 名)
(出張の顛末) 別紙 報告書の通り	
(備考)	

視察報告書

自由民主党浜松

須藤京子

日 時 令和 2 年 11 月 19 日 (木)
場 所 静岡商工会議所
研修内容 防災 web セミナー「with コロナ時代の防災対策」
参加者 平野岳子・稲葉大輔・露木里江子・小野田康弘・神間郁子・須藤京子

概要及び所感

web 参加の大西一史熊本市長の講演は、「令和 2 年 7 月九州豪雨災害の教訓」。

平成 29 年に発生した熊本地震からの回復途中であった令和 2 年 7 月の豪雨災害には「災害は突然で災害は無慈悲」という言葉が印象的だった。この災害では、コロナ禍のため県外からの災害ボランティアの受け入れも制限され、県内ボランティアのみの活動となったようで、支援物資の配給や復旧作業には人手不足が否めなかったことが想像された。こうしたことも踏まえると、市長の話にもあったように、災害に備えた訓練は実地訓練ばかりではなく、非常時の各部署の動きの確認などのイメージ訓練も大変に重要であると話された。そしてやはり大切なことは、普段からの人間関係の構築であり、地域コミュニティにおいてばかりではなく、地域と自治体、また、行政間の連携も必要であることを話され、本誌における防災体制の確認の必要性を感じた。

続く報告は、「コロナ禍の災害に備える・EV による被災地電源支援」について、一般社団法人災害時電源等派遣互助協会代表理事であり、前新潟市長の篠田昭氏からの報告。

この頃頻発する自然災害において、電源の復旧は被災地にとって喫緊の課題である。令和元年の台風 15 号による千葉県への停電には、東京電力をはじめ自動車メーカーなどが、電動車両と外部給電器を派遣して、避難生活を支えたという事例が報告された。近年、注目が集まる電動自転車もこうした電源としての使い道があることに気付かされた。今後はいくつかの課題を解消しつつ、国・自治体・企業・市民による災害時電源支援のネットワーク化を目指すという。

最後には、パネル討論「with コロナ時代の防災対策」として、これまでの登壇者に加えて、鈴木康友浜松市長と田辺信宏静岡市長が参加した討論会が行われた。やはり大きな災害を経験された熊本市長の言葉には重みがあると感じた。また、浜松市長の防災に対する持論の展開はわかりやすく立派に思えたが、具体的な課題は山積しているはずなので、平時からの取り組みとして、部署ごとの役割の確認など、細かなところから課題を捉えなおして、もしもの時への備えに万全を期していただきたいと思った。もちろん自分たちとしても、できることは何かを考えながら今後に向けて備えていきたい。

以上

With コロナ時代の防災対策セミナー報告書

自由民主党浜松 平野 岳子

<日 時> 令和2年11月19日(木)16時~18時

<視察先> 静岡商工会議所402号室

<内 容> ・講演「令和2年7月九州豪雨災害の訓練」

大西一史 熊本市長 (Web 参加)

・報告「コロナ禍の災害に備える・・・EVによる被災地電源支援」

一般社団法人災害時電源等派遣互助協会 代表理事 篠田 昭 (前新潟市長)

・パネル討論「With コロナ時代の防災対策」

浜松市 鈴木康友市長・静岡市 田辺信宏市長・熊本市 大西一史市長

濱口和久 拓殖大学大学院特任教授・防災教育研究センター長 (Web 参加)

コーディネーター 篠田 昭

<目 的>

新型コロナを受けた防災・危機管理体制に関する課題を共有して災害に強い地域づくりを進めるため、先進事例として熊本市に学ぶ。

<説明・所感>

熊本市は、平成28年に発生した熊本地震について、貴重な経験を次世代に伝承するため「熊本市震災記録誌」を発刊した。その後、令和2年7月九州豪雨災害が発生した際には、熊本地震の際に支援を受けた経験を活かし、積極的な職員応援派遣等により恩返しをされ、その当時の様子を大西熊本市長が語られた。

“同じ災害はない。初めてのことが起きる”・・・まさに災害はそのとおりである。

都道府県が中心となって災害支援を行うため、平時から都道府県との連携が大事であり、首長間での連携の重要性も必要。さらに新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の密を避けたスピード感ある多彩な支援が必要である。

大量に送られる支援物資については、無造作に置かれる物資の課題に対し、ふるさと納税等へのお願いにシフトしたそうで、大量に送られるダンボールだけでは中身がわからず人海戦術の大変さの反省を生かしている。

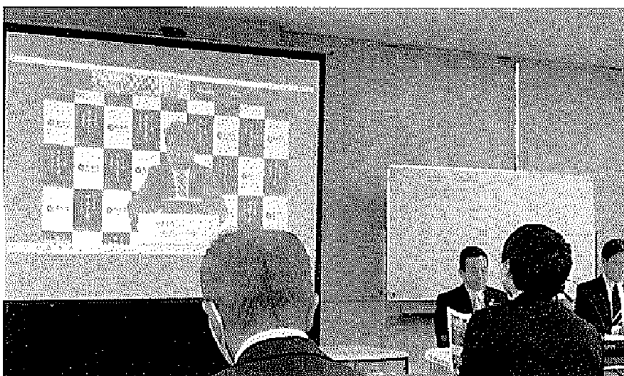
ペット可避難所も運営が難しく、臭いや鳴き声に苦情もある。しかしながら、高齢者がペット同伴を望まれることへどのように応えられるかどの自治体も課題である。

行政発信力も、SNSなどで直接つながり支え合う広報支援が有効であることは共通意識としている。多くの経験から本市においても議会と災害対策本部のスクラムで体制を整備することと、その共有意識が大切である。

パネル討論の中では、地域防災計画が常に活用できる訓練が肝心。災害対応の備えとして広域連携での機能分担による効率化・最適化は重要で、さらにはそれらに関係する人間関係の構築や民間との横連携が鍵となる。

災害が日常化しており、防災意識の定着が益々重要になっている中、地域防災計画は、いつも確認しながらどう対応するか把握しておく必要がある。さらに、平時からの人間関係が、人を動かすことに実体験から多く証明されている。行政の危機管理体制として、情報収集・危機管理判断と伝達システムが非常時にどれだけ機能するのか、改めて確認してしておく機会となった。併せて議会の対応についても、今一度、情報収集や伝達、要望、地域への発信なども再考すべきだ。

地域での防災訓練においては、コロナ対策も踏まえて、改めて組織での防災意識を高めていくべきと考える。



視察報告書

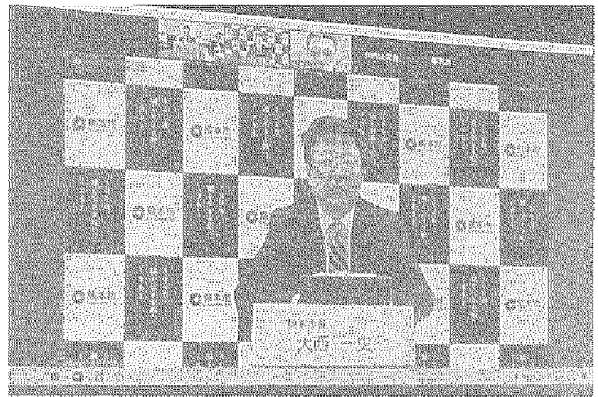
自由民主党浜松 稲葉大輔

【視察日程】 2020年11月19日(木)

【視察先】先進地方議員 防災セミナー

【セミナー講師・パネルディスカッション】

大西一史 熊本市長 篠田昭 前新潟市長 鈴木康友 浜松市長 田辺信弘 静岡市長
濱口和久 拓殖大学特任教授 防災教育センター長



【所感】

熊本地震を経験し、被災からの復興を目指している熊本市の大西市長のお話は、以前の熊本訪問時に伺ったが、その後に追い打ちをかける球磨川の大氾濫となった令和2年の7月豪雨においても甚大な被害がでることとなり、その経験からの災害対策や被災地応援システムなど大変参考となった。

元新潟市長の篠田さんから紹介されたパワーエイドジャパンの取り組みは、災害時の電源供給に対する対応として重要なものであると考える。

本市においても、過去の台風被害により市内での大規模停電が一週間近く続いてしまう混乱があり、デジタル化が進む社会においては、電源の確保は水や食料と同じく大変重要な生活インフラとなっていることから、今後の災害対策においての電源確保の整備は急務と言える。

浜松市・静岡市の両市長が参加したこともあり、その整備方針については直接政策立案に繋がることを期待するが、議会や市民としての災害対応、電源供給に対する理解や準備も広げていかなければならない。

視察報告書

自民党浜松 露木里江子

【視察日程】 令和2年11月19日(木)

【視察先】 静岡商工会議所
先進地方議員 Web セミナー & 静岡大会

【視察目的】 2月4日に開催された「千葉市長が語る巨大台風が襲った防雨災害」を踏まえ、また新型コロナを受けた防災・危機管理体制に関する課題を共有して災害に強い地域づくりを進めるとともに、地方議員のネットワークを強化する。そして本市行政の防災対策に資する。

【視察議員】 須藤京子 稲葉大輔 平野岳子 神間郁子
小野田康弘 露木里江子

【視察内容】

(1) 大西一史 熊本市長による講演「令和2年7月九州豪雨災害の教訓」

- ・同じ災害はない、初めてのことが起きる。震災対応の記憶をつなぐ「震災記録誌」を次世代に貴重な経験をつなぐために発行。
- ・日本の災害対応力の顕著な向上に支援を受けて気づいた。
- ・お互い様の精神で基礎自治体と被災県との連携が大事。
- ・平時からの人間関係が職員を動かすので、首長間での連携が重要。
- ・大量に送られる支援物資、無造作に置かれる物資の課題

(2) (一社)災害時電源など派遣互助協会 篠田昭 代表理事からの報告
「コロナ禍の災害に備える・・・EVによる被災地電源支援

2019年台風15号の際東京電力、トヨタ、日産などが千葉県内に電動車両と外部給電器を派遣し、避難生活を支えた。電動車の有用性が明らかになった一方、現場の受け入れ態勢が整わないなど課題も生じた。パワーエイドジャパン(以下、PAJ)はこの教訓を生かし、国・自治体・企業・市民による災害時電源支援の全国ネットワークを構築することを目指すとのこと。

(3) 「With コロナ時代の防災対策を問う」パネル討論

パネリスト 鈴木康友 浜松市長
田辺信弘 静岡市長
大西一史 熊本市長 (Web 参加)
濱口和久 拓殖大学特任教授/防災教育センター長
(Web 参加)
コーディネーター 篠田昭 前新潟市長

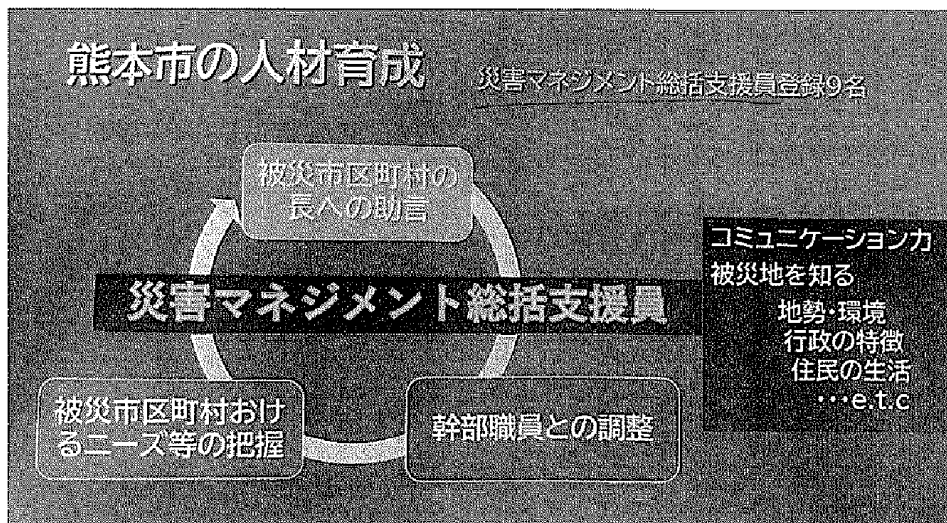
【所 感】 大西熊本市長のお話は、被災自治体の声として大変勉強になった。特に『地域防災計画』の重要性が理解できたので本市の地域防災計画を見る必要を感じた。また、熊本市の震災記録誌は都市型の震災で最近のものであるので、日ごろから何をしておくべきか、何に困ったかなどが参考になるはずであるので、本市にも届けられているはずのこの記録誌の精読の必要を感じた。

災害が起こった場合、大量に送られてくるであろう支援物資の受け入れ態勢はしっかりしておかないと善意がかえって現場での混乱を引き起こす可能性もあると感じた。

熊本では、災害直後から各議員が当局、その他関係機関に情報を求めたり、要望をしたりして大混乱に陥ったということで、浜松は議長を長とした議会災害対策ができていますので、ここは安心した。

ペット同伴避難、コロナ対策など、危機管理も次々と対応が迫られる。喫緊の課題である。

『災害は突然で無慈悲である』とおっしゃった熊本市長の言葉が大変印象に残った。



令和2年11月24日

With コロナ時代の防災対策報告書

小野田 康弘

開催日時 令和2年11月19日(木) 16:00～
開催地 静岡県静岡市 静岡商工会議所
参加議員 稲葉 大輔 須藤 京子 平野 岳子 露木 里江子
神間 郁子 小野田 康弘

テーマ

熊本市長が語る『With コロナ時代の防災対策』
～令和2年7月九州豪雨災害の教訓～

講演内容

- 1 基調講演 令和2年7月豪雨災害の教訓 大西一史 熊本市長
令和2年7月九州豪雨災害の教訓をテーマに、災害現場で何が起こり、コロナ禍の中で、どう対応されたのか、見えてきた課題は何か、熊本市長が語って頂きました。
- 2 報告 コロナ禍の災害に備える EVによる災害時電源支援 篠田 昭 前新潟市長
令和元年に千葉県を襲った台風15号による長期停電を克服するため、電気自動車による災害時電源援助の取り組みについて報告がありました。
- 3 討論 With コロナ時代の防災対策を問う
大西一史 熊本市長 田辺信宏 静岡市長
鈴木康友 浜松市長 濱口和久 拓殖大学大学院特任教授
激甚化する災害に加え、新型コロナによって新たな防災・危機管理体制の構築について討論がありました。

所感

熊本市では、2016年の熊本地震や本年の九州豪雨災害にみまわれた大西市長から、「同じ災害はない、初めてのことが起こる」「想定していないことが起こる」との発言があり災害対応の難しさや災害への備えが改めて重要であると感じました。

災害への備えとして、過去の被災自治体の経験を次世代に継承する「震災記録誌」にも触れられ、過去の災害状況と対応を知ることにより防災力向上につながり、「想定していないこと」を減らしていくことが必要である。また、各自治体で作成している「地域災害計画」についても行政職員や議員は、事前に目を通しておくことが、被災後の迅速な対応に繋がりに非常に重要である。

災害への支援体制については、阪神・淡路大震災以降、緊急消防援助隊・自衛隊災害派遣・被災市区町村応援職員確保システム・災害派遣医療チームなど公的な支援体制が拡充してきているが、今後は、ボランティア組織や企業などの民間支援の力をどのように活用充実していくかが課題であると思います。九州豪雨災害では、コインランドリー車両や移動 ATM 車両が使用されたと報告がありました。本市においても様々な対応が必要となってくると思われまます。本市においても民間との協定も拡充してきていますが、広大な市域をもつ本市は、公的な支援だけでなく、民間支援の活用もさらなる拡充が必要と思いました。

熊本市では、他市町村への支援体制を構築する中で災害マネジメント総括支援員を人材育成しており、災害時における被災市区町村ニーズの把握、幹部職員との調整、被災市区町村の長への助言などを行っている。今回の九州豪雨災害においても、人吉市へ派遣支援を行っている。このような支援体制は、政令指定都市の本市の役割も大変重要となっており、人材育成も必要であると感じた。本市の状況もしっかり確認していきたい。

九州豪雨災害発生時は、新たに新型コロナウイルス感染症対策が必要な時期であった。多数の住宅喪失住民が発生し、避難所開設当初には、住民自らが蜜を避けようと工夫していたようで、4日後には避難所へパーテーションなどスピードのある多彩な支援が整っていた。また、大量に送られてくる支援物資については、無造作に置かれる問題も発生し、課題となっている。支援物資についても、送り側にも一定のルールが必要と思われる。

大西市長の講演の最後に、議会災害対策会議設置要綱の話題の中で、発災時の議員の行動と役割がありました。本市においても、議員の役割・行動など防災訓練の中で確認が必要と感じました。

EV による災害時電源支援の講演では、一般社団法人災害時電源等派遣互助協会からの提案があり、令和元年の台風 15 号における千葉県の大停電時の EV 自動車派遣による電源支援の報告がありました。災害発生時の停電など、命に直結する病院や高齢者施設の停電対策にも有効な手段でもあり、本市においても、オフグリッドなどによる電源確保を整えている状況の中で、EV による電源確保も必要であると感じた。全国ネットワークによって、自治体の災害対応力の強化にもなりますが、自治体はもとより民間の支援体制強化の必要性があると感じました。

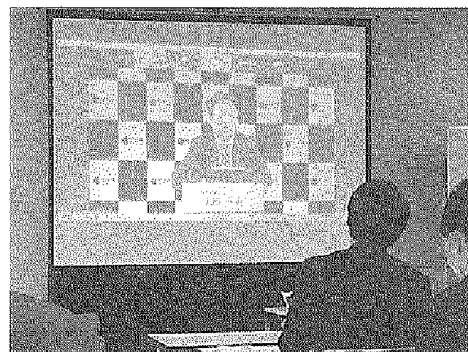
今回の防災セミナーを聴いて、本市においても、台風・局地的豪雨・土砂災害など様々な災害が起きており、また近い将来に発生が予測される東南海トラフ巨大地震への備えを充実させていかなければならない。「同じ災害はない 初めてのことが起きる」の言葉通り、初めて起こる災害に対応ができることが防災力の強化につながると感じました。

参加セミナー：防災 Web セミナー & 静岡大会

主催：一般社団法人 公共経営研究センター

日時：2020年11月19日 16:00～

場所：静岡商工会議所 402号室



テーマ：「With コロナ時代の防災対策」

○講演：「令和2年7月九州豪雨時の教訓」

大西一史 熊本市長

○報告：「コロナ禍の災害に備える・・・EVによる被災地電源支援」

○パネル討論：「With コロナ時代の防災対策」

鈴木康友 浜松市長 田辺信宏 静岡市長

大西一史 熊本市長

濱口和久 拓殖大学大学院特任教授・防災教育センター長

○内容

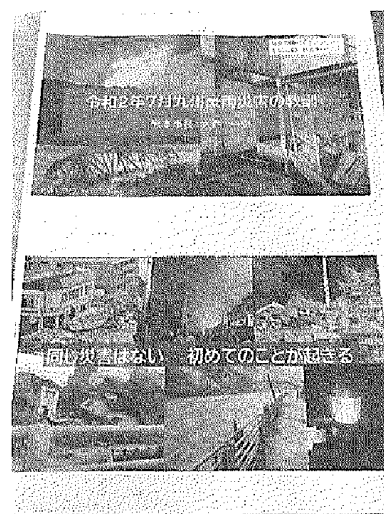
熊本地震・令和二年7月豪雨災害を経験している熊本市長の講演では、同じ災害はない、初めてのことが起こる、いつでも想定外、災害は突然で無慈悲といった、言葉が印象的で、いかに平時から災害に備えるかの重要性が語られた。他市の災害記録がその都度報告されているが、過去の被災自治体の経験に習い、平時に目を通し各部署ごとにやるべきことを確認しておく必要がある。

また、被災市区町村応援職員確保システムによる対口支援により、スムーズな被災地支援と、災害マネジメント総括支援員が幹部職員との調整・被災市区町村におけるニーズの把握・被災地区町村長への助言する立場として、機能することの重要性が理解できた。

防災・減災・知災・備災の四つの「災」をキーワードに各自治体は平時より対策を講じていく必要がある。

またEVによる被災地電源支援について紹介があった。非常時の電源支援についても、準備が必要である。

本市においても、地域防災計画の確認と、各部署ごとの対応について平時より確認が必要と思われる。



防災 Web セミナー & 静岡大会次第

◆開催趣旨

2月4日に開催した公開セミナー『千葉市長が語る「巨大台風が襲った豪雨災害」～新たな脅威にどう対処するか～』を踏まえ、また、新型コロナを受けた防災・危機管理体制に関する課題を共有して災害に強い地域づくりを進めるとともに、地方議員のネットワークを強化する。

◆シンポジウム概要案

- 主催：一般社団法人 公共経営研究センター（代表 ^{あいらび}河内山哲朗 元柳井市長）
共催：一般社団法人 災害時電源等派遣互助協会（代表 篠田 昭 前新潟市長）
共催：特定非営利活動法人 公共政策調査機構（代表 池田健三郎）
- 日時：2020年11月19日（木）
16:00～セミナー 18:15～静岡会場のみ交流会
- 場所：静岡商工会議所402号室
- 会場定員：約40人
- ウェビナー：Webセミナーシステムを活用して全国に同時ネット配信
- テーマ：『Withコロナ時代の防災対策』
- 会費案：現地研修会5000円、交流会2000円、Web参加費2000円

◆プログラム（16:00～20:00）

『Withコロナ時代の防災対策』（16:00～18:00）

講演 「令和2年7月九州豪雨災害の教訓」（16:05～16:45）
大西一史 熊本市長（Web参加）

報告 「コロナ禍の災害に備える・・・EVによる被災地電源支援」（16:45～17:00）
一般社団法人 災害時電源等派遣互助協会 代表理事 篠田 昭（前新潟市長）

パネル討論 『Withコロナ時代の防災対策』（17:00～18:00）

鈴木康友 浜松市長

田辺信宏 静岡市長

大西一史 熊本市長（Web参加）

濱口和久 拓殖大学大学院特任教授・防災教育研究センター長（Web参加）

コーディネーター 篠田 昭

会場及びオンライン参加者からの質疑応答

Power Aid Japan

休憩・交流会場準備（約15分）

【交流会】（18:15～20:00）

以上

B1201

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	1	7	2	2	0

但し 12月18日開催 研修会時の講師派遣費用（交通費）として

「総合区制度研修会」

（講師）総務省 自治行政局 行政課
課長補佐 中西 則文 氏

交通費実費：①東京－浜松 往復新幹線乗車券 16,350 円
②浜松駅－浜松市役所 タクシー代 870 円

（①+②）合計 17,220 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 2 年 1 2 月 1 8 日

代表者名 渥 美 誠



領 収 書

Receipt 様
 領収年月日 2020.12.18

金額 ￥16,350

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(60083 4枚)
 東日本旅客鉄道株式会社

新大久保駅
 新大久保駅VF1発行 00084-01

納	告	申	紙	印
済	渡	き	税	紙
承	承	承	務	税
認	認	認	務	務

東京-浜松
 宿後

浜松駅～市役所
 972-代

品名	数量	単価	金額
乗車券	4枚	4000円	16000円
消費税			370円
合計			16350円

合計 17,220 円

実質支払

令和2年12月10日

総務省 自治行政局 行政課 御中

自由民主党浜松
会長 渥美 誠

自由民主党浜松「総合区制度研修会」への派遣について（依頼）

日頃より、浜松市行政に格別のご配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、区再編を協議している浜松市議会会派として、総合区制度を学ぶことを目的に、下記のとおり研修会を開催いたします。

つきましては、業務多忙の折、誠に恐縮ですが、下記職員を当研修会に派遣いただきますようお願い申し上げます。なお派遣経費については会派にて負担いたします。

記







- 1 日 時
令和2年12月18日（金） 午後2時～4時
- 2 会 場
浜松市役所 自由民主党浜松 会派控室
- 3 派遣職員氏名
総務省自治行政局行政課 課長補佐 中西 則文 様
- 4 研修会参加者（予定）
自由民主党浜松市議会議員 区再編グループ 6名
- 5 研修内容
総合区制度について

以上

担当 自由民主党浜松
副会長 高林 修
電話 053-457-2495

(様式11)

B1201

令和 2 年 1 2 月 1 8 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 渥 美 誠 様	
報 告 書	
研修年月日	令和 2 年 1 2 月 1 8 日 (金) 14:00~16:00
場 所	浜松市役所内 8階 802 会議室
研修理由	『総合特区制度』について
参 加 者 氏 名 印	高林 修  稲葉 大輔  鈴木 幹夫  倉田 清一  齋藤 和志  小野田康弘 
講師 : 総務省自治行政局行政課 課長補佐 中西 則文 氏 会派内の行政区再編グループによる総合区制度について学ぶ。 今回は、再編プロジェクトチーム先行の研修会であったが、会派他議員との 共通認識のもとで、今後の行政区再編の議論・発展に資する。	
(備考)	資料 別紙添付

総合区制度について

令和2年12月18日(金)

総務省自治行政局行政課

課長補佐 中西 則文